

様式7

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	音楽 I	単位数	2単位
		学年等	1年生全

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。</p> <p>自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。</p> <p>主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>高校生の音楽1・音楽通論・The Basics of Music(単元によってワークシートも配付)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<p>曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。</p>	<p>音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。</p>	<p>主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていこうとしている。</p>
評価点	150点	150点	150点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	<p>[歌唱] 斉唱、独唱 [器楽] 三線 [鑑賞] 西洋音楽史</p>	<p>実技テスト ワークシート記述</p>	<p>実技テスト ワークシート記述</p>	<p>行動観察 ワークシート記述</p>
		50点	50点	50点
2 学期	<p>[歌唱] 斉唱、独唱 [器楽] ヴァイオリン [創作] 作曲・編曲</p>	<p>実技テスト 作品提出 ワークシート記述</p>	<p>実技テスト 作品提出 ワークシート記述</p>	<p>行動観察 作品提出 ワークシート記述</p>
		50点	50点	50点
3 学期	<p>[歌唱] 合唱 [器楽] アルトリコーダー・ハンドベル</p>	<p>発表 実技テスト ワークシート記述</p>	<p>発表 実技テスト ワークシート記述</p>	<p>行動観察 ワークシート記述</p>
		50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	〔歌唱〕 校歌(斉唱)、「Caro mio ben」「野ばら」 ・バランスのよい姿勢、呼吸の仕方、声の響かせ方を理解する。	24
	5	・曲のイメージをもち、曲想と歌詞との関わりや旋律の特徴、言葉の抑揚を理解して、表現を創意工夫して歌う。 ・ドイツ語の発音を学び、強弱によるリズムと旋律との関わりを理解するとともに、曲にふさわしい表現で歌う。	
	6	・イタリア語の発音を学び、強弱によるリズムと旋律との関わりを理解するとともに、曲にふさわしい表現で歌う。 ○-----	
	7	〔器楽〕 三線(弾き歌い)「ていんさぐぬ花」 ・楽器の構造、チューニング法、バチの持ち方、奏法の技能、工工四の読み方を身につけ、思いや意図をもって演奏する。 〔鑑賞〕 西洋音楽史 ・中世～近現代の音楽の特徴と背景を読み取り、よさを味わう。 ○-----	
2 学 期	8	〔歌唱〕 「歌の翼に」、「Sing」 ・バランスのよい姿勢、呼吸の仕方、声の響かせ方を理解し、曲のイメージをもち、曲想と歌詞との関わりや旋律の特徴、言葉の抑揚を理解して、表現を創意工夫して歌う。	28
	9	○-----	
	10	〔器楽〕 弦楽器「きらきら星」 ・さまざまな奏法を身につけ、複雑なリズムと旋律とのかかわりを理解するとともに、曲にふさわしい表現を工夫して演奏する。	
	11	〔創作〕 ガレージバンドを使用した作曲・オリジナル校歌の編曲(iPad)	
	12	・反復、変化、対照などの手法を用い、音素材を活用して自分のイメージに合わせて作曲・編曲をする。 ○-----	
3 学 期	1	〔歌唱〕 合唱「信じる」 ・歌詞の心情を読み取り、曲想と歌詞との関わりや旋律の特徴、言葉の抑揚を理解して、表現を創意工夫して歌う。	18
	2	〔器楽〕 アルトリコーダー ・基礎的な奏法を身につけ、レガート奏法・スタッカート奏法を使い分けて演奏する。	
	3	〔器楽〕 ハンドベル合奏 ・旋律の美しさを味わいながらアンサンブルの楽しさを感じ、曲想にあった表現を工夫する。 ○-----	

5 その他

- 1日に2時間連続で授業があります。
- 定期考査は実施しませんが、単元ごとに実技テストや発表を行います。
- 進学で必要な人は必ず担当教員に申し出て下さい。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	美術 I	単位数	2単位
		学年等	1年生全

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関する資質・能力と次のように育成することを目指す。</p> <p>(1)対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法や創造工夫し、創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(2)造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。</p> <p>(3)主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、完成を深め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	高校美術1 混色事典

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	1)対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法や創造工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、完成を深め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。
評価点	400点	400点	400点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	デザイン 1.グラデーション表現を使って	・グラデーション作品 【グラデーションの配色等の知識】	グラデーション作品 【配色計画】	・授業態度 ・作品鑑賞力 ・進捗表
		100点	100点	100点
2	絵画 風景画 1. 校内の風景画を描く	・風景画 ・アクリル絵の具の知識	・風景画 ・アクリル絵の具の使い方	・授業態度 ・作品鑑賞力 ・進捗表
		100点	100点	100点
3	工芸 1. 家庭で使えるものを作ろう 【鍋敷き】	木彫りの知識 薬研彫り、菱合い彫り、浮彫りなど	木彫のデザイン性	・授業態度 ・作品鑑賞力 ・進捗表

	彫刻 パッケージ 1. 本物そっくりに作ろう	・パッケージ ・パッケージデザインの意義	パッケージを本物らしく表現できたか(色・形)	・授業態度 ・作品鑑賞力 ・進度表
		200点	200点	200点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1	4	はじめに(オリエンテーション)美術への招待と今後の授業内容の説明 ① 鉛筆を削ろう。 ② 鉛筆の硬さの違いについて ③ 鉛筆の特性を生かしてクロッキー帳に『手』を描いてみよう。	24
	5	デザイン テーマ ひとつたつずらすとなんときれい ① グラデーションについての知識 (清色・濁色・有彩色・無彩色・補色など)	
	6	② グラデーションを使った模様を考える。(模様づくり) ③ 20cm×20cm のケント紙に模様を清書する。 ④ 配色計画を立てる。	
	7	⑤ きれいに塗られたグラデーション作品完成 ⑥ 裁断するための切り絵を完成 ⑦ 最大5mmで裁断し、並び替え、貼り付けで完成	
	8	『絵画』	
	9	身近な校内風景画を描こう。教科書 P16, 17参照	
	10	① 事前に身近な学校での場所をタブレットで撮っていく ② アクリル絵の具の特性・キャンバスについて理解する。 ③ 風景画の構図について(透視図法の活用) ④ 遠近感の表現	
2		『工芸』	28
	11	鍋敷きをつくる ① 八角形の形に合うデザインを考える	
	12	② 彫刻の使い方を理解する。 (薬研彫、菱合い彫り、片切り彫り、かなぼこ彫りなど) ③ 着彩する。	

3	1	パッケージの制作(本物そっくりに作ろう)	18
		① パッケージの図柄をトレースする。(一文字変える)	
	2	② パッケージの実物大の粘土のかたまりを成形する。	
	3	※2 学期中に粘土で作らせ乾燥しておく	
		③ 粘土へのトレース後、アクリル絵の具で着彩する	

5 その他

- ・定期テストはありませんが、作品提出が大きな評価対象です。
- ・進捗表の計画・反省・次回への取り組み内容の記入が重要です。
- ・将来、美術系の進路を考えている人は1年の間にかならず相談にきてください。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	書道 I	単位数	2単位
		学年等	1年生全

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。また、書の良さや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。また、主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。
使用教科書 副教材等	光村図書 書 I 教育出版 高校硬筆の練習

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	書に関する見方・考え方を働かせて、書の表現方法や形式、書表現の多様性などについて書の創造的活動を通して理解するとともに、書の伝統に基づき、作品を工夫して表現するための技能を身に付け表している。	書の良さや美しさを感じ、書に関する見方・考え方を働かせて、自らの意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書を味わって深く捉えたりしている。	書の創造的活動の喜びを味わい、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	オリエンテーション 漢字の書(基本点画) 古典臨書(行書・草書・隷書・篆書・楷書) 一字書作品制作	授業課題 ワークシート記述	授業課題 ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
	評価点	100点	80点	100点
2 学期	漢字仮名交じり書 古典臨書制作(半紙) 仮名の書 漢字仮名交じり書作品制作 (線質・潤滑・墨の濃淡・余白・紙面構成)	授業課題 ワークシート記述	授業課題 ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
	評価点	120点	120点	100点
3 学期	篆刻 漢字仮名交じり書作品完成	授業課題 ワークシート記述	授業課題 ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
	評価点	80点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学期	4	[オリエンテーション] 書道学習の内容を理解する。	24
	5	[漢字の書(基本点画)] 筆の持ち方、構えなどを理解し、毛筆に慣れる。	
1 学期	6	[古典臨書(行書・草書・隸書・篆書・楷書)] 古典の特徴を発見、理解し、用筆や運筆、造形や線質の習得を目指す。	24
	7	[一字書作品制作] 学習した古典をもとに一文字だけでの作品制作を行う。紙面構成を考え、紙面のどの位置に文字を書くのが効果的かを考察させる。 また、相互批評を行い、今までの学習の根拠に基づいた自分の考えを述べさせる。	
2 学期	8	[漢字仮名交じり書] 身近な現代の文章を書くことにより、文字の持つ説得力を感じさせる。	28
	9	[古典臨書制作(半紙)] 古典臨書学習で理解した表現技法を使い、古典の特徴を掴みながらそれを表現できるようにする。(公募展出品)	
2 学期	10	[仮名の書] 古典臨書で書の技法を身に付けた上で、漢字かな交じり書作品制作のために平安時代の初期の仮名を学習し、平仮名の美しさの基本とは何かを学ぶ。	28
	11	[[思いを伝える書]制作](線質・潤滑・墨の濃淡・余白・紙面構成) 一つ一つのテーマに沿い、漢字かな交じり書の基本を学ぶ。また、 [[思いを伝える書]として他の人へ思いを伝える場合に必要技法を学ぶ。作品効果として有効な事項の理解に努め制作に活かす。	
3 学期	1	[篆刻] 作品に押印する印を作成する。	18
	2	[[思いを伝える書]完成] 1年間の学習を通して習得した表現方法や技法を使い、“誰に、何を、どのように、伝えたいか”を考えながら魅力ある作品制作を目指す。特に言葉選び、イメージ設定、表現の工夫等について試行錯誤を重ね制作する。	
3 学期	3	「書」を愛好し生活の中で楽しみながら、生涯に渡り生活をより一層豊かにする姿勢を大切にす。	18

5 その他

- 授業は2時間連続で行います。
- 授業に必要な道具は各自できちんと管理してください。
- 書道で進学を考えている人は必ず担当教諭に申し出てください。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	楽典・ソルフェージュⅠ	単位数	1単位
		学年等	2年生クリエイション

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>聴音や視唱などの諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ専門的な音楽に関する資質・能力を次のように育成することを目指す。</p> <p>(1)拍子、リズムなどの音楽理論について理解するとともに、読譜や演奏表現をするために必要な技能を身につけるようにする。</p> <p>(2)聴き取った声部を正確に捉え、旋律視唱の表現を創意工夫することができるようにする。</p> <p>(3)音楽を愛好し、音や音楽に対する興味・関心を高めるとともに、主体的に楽譜から情報を読み取ろうとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	音楽通論・The Basics of Music(ワークシートも配付)・コールユーブングエンまたはコンコーネ

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・聴音などにおいて、和声等を理解し、譜表に記譜する基礎的な能力を身に付けている。 ・各課題の調性や拍子を理解し、正確な音程やリズム、音価、和声を記譜する。調性に沿った臨時記号を選択し、記譜する力を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・旋律や和声を知覚し、それらの働きを感受しながら、調性感やリズム感をもって音楽を聴き取っている。 ・旋律やリズムを知覚し、それらの働きを感受しながら、調性感、和声感、リズム感を持った音楽表現をしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・旋律やリズム、和声との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 ・旋律やリズムの変化と、それらが生み出す曲想との関わりに関心を持ち、新曲視唱の活動に主体的・協働的に取り組もうとしている。
評価点	150点	150点	150点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	[楽典]音の種類・音名と階名・様々な譜表 [視唱]発声の基礎、新曲視唱 [聴音]基本的な単旋律聴音	小テスト ワークシート記述	小テスト ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
		50点	50点	50点
2 学期	[楽典]リズムと拍子・音程の基礎 [視唱]新曲視唱 [聴音]複旋律聴音	小テスト ワークシート記述	小テスト ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
		50点	50点	50点
3 学期	[楽典]音階 [視唱]新曲視唱 [聴音]和声聴音	小テスト ワークシート記述	小テスト ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
		50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学期	4	〔楽典〕音の種類・音名と階名・様々な譜表 ・音楽を専門的に学ぶ際に必須の「音」「音名」「リズム」「拍子」「音程」に関する基礎知識を理解する。	12
	5	○----- 〔視唱〕発声の基礎、新曲視唱 ・音楽を構成する諸要素の基本的事項を理解し、読譜力を高める。	
	6	・新曲視唱に必要な発声の基礎と、基本的なリズム様式を身に付ける。	
	7	〔聴音〕基本的な単旋律聴音 ・音の響きや音型、リズムを理解し、譜表に記譜する基礎的な能力を身に付ける。 ○-----	
2 学期	8	〔楽典〕リズムと拍子・音程の基礎 ・音楽を専門的に学ぶ際に必須の「音」「音名」「リズム」「拍子」「音程」に関する基礎知識を理解する。	14
	9	○-----	
	10	〔視唱〕新曲視唱 ・音楽を構成する諸要素の基本的事項を理解し、読譜力を高める。	
	11	・新曲視唱に必要な発声の基礎と、基本的なリズム様式を身に付ける。	
12	〔聴音〕複旋律聴音 ・音の響きや音型、リズム、和声を理解し、譜表に記譜する基礎的な能力を身に付ける。 ○-----		
3 学期	1	〔楽典〕音階 ・「音階」に関する基礎知識を理解する。	9
	2	〔視唱〕新曲視唱 ・音楽を構成する諸要素の基本的事項を理解し、読譜力を高める。 ・新曲視唱に必要な発声の基礎と、基本的なリズム様式を身に付ける。	
	3	〔聴音〕和声聴音 ・音の響きや音型、リズム、和声を理解し、譜表に記譜する基礎的な能力を身に付ける。 ○-----	

5 その他

- 聴音や視唱のテストを行います。
- 進学で必要な人は必ず担当教員に申し出て下さい。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	音楽探究	単位数	2単位
		学年等	2年生クリエイション

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>探究の見方・考え方を働かせ、地域社会を担う生き方や働き方を考えながら、地域の活性化に向けた課題を解決するために必要な基本的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)地域に関わる様々な事象について探究するために必要な基本的な知識及び技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)芸術的な内容を日常生活と関連づけ、音楽を通じた地域への着手方法を自ら考え、情報収集や整理分析をして、総括・表現できる力を養う。</p> <p>(3)地域に関わる様々な事象や地域の活性化に向けた課題に知的好奇心をもって向き合い、粘り強く考え行動し、課題の解決に向けて挑戦しようとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	音楽通論・The Basics of Music(単元によってワークシートも配付)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていこうとしている。
評価点	150点	150点	150点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	〔歌唱〕斉唱 〔器楽〕三線 ☆西洋音楽史	実技テスト ワークシート記述	実技テスト ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
		50点	50点	50点
2 学期	〔歌唱〕斉唱、合唱 〔器楽〕ヴァイオリン ☆演奏企画 ☆大学体験授業	実技テスト ワークシート記述	実技テスト ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
		50点	50点	50点
3 学期	〔歌唱〕斉唱、合唱 〔器楽〕鍵盤楽器 ☆西洋音楽史	発表 ワークシート記述	発表 ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
		50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学期	4	〔歌唱〕 イタリア歌曲／合唱 ・イタリア語の発音とベルカント唱法を身に付ける。 ・リズムを意識して個性豊かな歌唱表現を創意工夫する。	24
	5	・イタリア語の特性とそれにふさわしい発声、拍子にあった歌唱表現に主体的に取り組む。 ○-----	
	6	〔器楽〕 三線「島人ぬ宝」「海の声」／リコーダーアンサンブル／吹奏楽 ・音色や奏法との関わりやその関わりによって生み出される表現上の効果を理解するとともに、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、個性豊かに器楽表現を創意工夫する。 ☆演奏企画	
	7	・主体的・協働的に演奏企画の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育む。 ○-----コンサート実施	
2 学期	8	〔歌唱〕 ドイツ歌曲／合唱 ・ドイツ語の発音を学び、強弱によるリズムと旋律との関わりを理解するとともに、曲にふさわしい表現で歌う。	28
	9	○-----	
	10	〔器楽〕 ヴァイオリン「歓喜の歌」「アメイジング・グレイス」／ハンドベル／吹奏楽 ・音色や奏法との関わりやその関わりによって生み出される表現上の効果を理解するとともに、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、個性豊かに器楽表現を創意工夫する。 ☆演奏企画	
	12	・主体的・協働的に演奏企画の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育む。 ☆大学体験授業 ・音楽大学での古楽器演奏体験やソルフェージュ講義体験を通じて 興味関心を高める。 ○-----コンサート実施	
3 学期	1	〔歌唱〕 斉唱、合唱 ・曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解するとともに、他者との調和を意識して歌う技能を身に付け、個性豊かに歌唱表現を創意工夫する。	18
	2	〔器楽〕 鍵盤楽器 ・音色や奏法との関わりやその関わりによって生み出される表現上の効果を理解するとともに、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、個性豊かに器楽表現を創意工夫する。	
	3	☆西洋音楽史 ・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解を深めるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え音楽のよさや美しさを深く味わって聴く。 ○-----コンサート実施	

5 その他

- 単元ごとに実技テストや発表を行います。
- 進学で必要な人は必ず担当教員に申し出て下さい。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	素描表現	単位数	学年等	区分・型(文型・理型)等
		1	2	クリエイション

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>美術表現を通じて感性や美意識、想像力を働かせ、対象や事象を造形的な視点で捉え、自分としての意味や価値をつくりだすなどの造形的な見方・考え方を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。</p> <p>(1)対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深める。</p> <p>(2)意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(3)主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化の親しみ、心豊かな生活や社会を創造する態度を養う</p>
使用教科書 副教材等	副教材 基礎から学ぶ鉛筆デッサン(代々木ゼミナール)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	目的や意図に基づいて技法や材料などの特性を理解し、効果的な表現方法を創意工夫し、計画や手順を考えることができる。	心の中の感情のイメージを基に主体的に主題を生成し、表現形式の特性と色や形などの創造的表現の構想が練ることができる。発想力や構想能力が独創的で優れている。	主体的に絵画、デザイン、工芸、彫刻などの創造活動に取り組もうとしている。 新しい課題にも意欲的に取り組んでいる。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	オリエンテーションを通じて1年間のつる力を理解する。 素描について 描画材料の違いについて グラデーションを使った作品	授業中の行動観察 作品分析	作品分析	・授業中の行動観察 ・進捗表の記入 ・作品鑑賞力
	評価点	100点	100点	100点
2	鉛筆による模写 幾何学形態を使った鉛筆作品	・授業中の行動観察 作品分析	作品分析 作品分析	授業中の行動観察 進捗表の記入 作品鑑賞力
	評価点	100点	100点	100点

3	2つ以上のモチーフをつかった作品 3つ以上のモチーフをつかった作品	授業中の行動観察 作品分析	作品分析 作品分析	授業中の行動観察 進度表の記入 作品鑑賞力
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1	4	はじめに(オリエンテーション) ・美術への招待、これからの授業内容の確認 ①素描材料について ・鉛筆、コンテ、木炭などの描画材料を使い分けることを理解する。	12
	5	②鉛筆の持ち方について ・鉛筆の持ち方によって表現が変わることを理解する。	
	6	③鉛筆の硬さについて ・鉛筆にも濃さによって表現が変わることを理解する。	
	7	④鉛筆による明暗をグラデーションで表現する ・グラデーションによって明るさ、暗さかわることを理解する。	
2	8	①鉛筆による著名な作家の作品を模写する。 ・模写をすることによって、優れた鉛筆技法を学ぶ。	14
	9	②幾何学形態の石膏を2つ選び、鉛筆で表現する。	
	10	・球体、円錐、直方体などの石膏から明暗関係や立体感を理解する。	
	11		
	12		
3	1	2つ以上の質感の違うモチーフを鉛筆で表現する。	9
	2	・質感の異なる(石と紙など)モチーフを表現することにより、表現力を身につける。	
	3	②3つ以上の質感の違うモチーフを鉛筆で表現する ・ガラスの瓶と木とビニールのひもの3つのモチーフ。	

5 その他

美術の基礎的な内容を通じて、表現する喜びを育てる。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	美術探究	単位数	学年等	区分・型(文型・理型)等
		2	2	クリエイション

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>探究の見方・考え方を働かせ、地域社会を担う生き方や働き方を考えながら、地域の活性化に向けた課題を解決するために必要な基本的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)地域に関わる様々な事象について探究するために必要な基本的な知識及び技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)芸術的な内容を日常生活と関連づけ、芸術を通じた地域への着手方法を自ら考え、情報収集や整理分析をして、総括・表現できる力を養う。</p> <p>(3)地域に関わる様々な事象や地域の活性化に向けた課題に知的好奇心をもって向き合い、粘り強く考え行動し、課題の解決に向けて挑戦しようとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	副教材

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	目的や意図に基づいて技法や材料などの特性を理解し、効果的な表現方法を創意工夫し、計画や手順を考えることができる	心の中の感情のイメージを基に主体的に主題を生成し、表現形式の特性と色や形などの創造的表現の構想が練ることができる。発想力や構想能力が独創的で優れている。	意欲的に絵画、彫刻、デザイン、工芸などの創造的活動に取り組もうとしている。 新しい課題にも意欲的に取り組んでいる。
評価点	400点	400点	400点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	オリエンテーションを通じて1年間のつる力を理解する。 陶芸作品 版画によるシルクスクリーン作品	授業中の行動観察 作品分析	作品分析	授業中の行動観察 進度表の記入 作品鑑賞能力
	評価点	200点	200点	200点
2 学期	工芸作品 彫刻作品	授業中の行動観察 作品分析	作品分析	授業中の行動観察 進度表の記入 作品鑑賞能力
	評価点	100点	100点	100点
3 学期	テンペラ絵画	授業中の行動観察 作品分析	作品分析	授業中の行動観察 進度表の記入 作品鑑賞能力
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学期	4	①始めにオリエンテーションを通じて一年間のつける力を理解する。 美術への招待 今後の授業内容について理解する。	24
	5	②陶芸制作(マグカップ、茶碗) やきものとしての歴史や、制作工程を理解する。板作りによるマグカップの制作、ひも作りによる茶碗制作をする。自分が制作した器が使える喜び、楽しさを味わう。	
	6	③切り絵の制作 カッターナイフの使い方に慣れる	
	7	④ 版画制作の制作(シルクスクリーン) オリジナル性を重視した T シャツのデザインを考える。シルクスクリーン版画の特性を意識した上での配色計画を立てる。	
2 学期	8	工芸について 機能性やデザイン性を考えた木のスプーン、フォーク、バターナイフの三点を通じて用と美を意識した作品作りを考える	28
	9	彫刻について	
	10	① 篆刻 自分の名前のデザインを考える ② 連想語から彫刻作品を考える。 ・言葉からの連想から具体的な形にすることを理解する。 ・隣にある面とのつながりを大切に作品をつくる。	
	11 12		
3 学期	1	テンペラ絵画の制作	18
	2	卵を使ったテンペラの表現方法を習得することにより、絵画の楽しさを感じ取る。	
	3	作品展に向けて さわやかハイスクール等を利用し、公民館での作品展を行う	

5 その他

美術の領域の絵画、デザイン、工芸、彫刻、鑑賞の5つの分野を幅広く取り入れることにより、個々の美術の探究心を養うとともに自分の制作した作品を作品展に展示することで、多くの方々に見ていただくことにより作品づくりの意義を感じるようにする。

科目名	実用書道	単位数	1単位
		学年等	2年生クリエイション

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>日常生活における書に触れる活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 書の伝統と文化に基づき、生活面においての応用的な書としての知識、技能を身に付ける。</p> <p>(2) 書の良さや美しさを感じ、状況に合わせた表現を工夫し書的美を味わい深く捉え、それを作品によって表現できるようにする。</p> <p>読み手のことを考えて、丁寧に読みやすく書こうとするとともに、何のために書くのかを考えて、それぞれの目的にふさわしい書き方で書こうとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	大人のたしなみ美しいペン字練習帳 AERA lesson(朝日新聞出版)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	書に関する見方・考え方を働かせて、書の表現方法や形式、書表現の多様性などについて書の創造的活動を通して理解するとともに、書の伝統に基づき、作品を工夫して表現するための技能を身に付け表している。	書の良さや美しさを感じ、書に関する見方・考え方を働かせて、自らの意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書を味わって深く捉えたりしている。	書の創造的活動の喜びを味わい、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	オリエンテーション 直線・止め・曲線・間隔のトレーニング 古典から学ぶ漢字の字形 平仮名・カタカナのマスター 日常使う言葉の練習	授業課題 ワークシート記述	授業課題 ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
	評価点	100点	80点	100点
2 学期	手紙を書こう レイアウトの練習(封筒や葉書の宛名書き) 筆を使った実用書(冠婚葬祭用) 年賀状を書こう	授業課題 ワークシート記述	授業課題 ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
	評価点	120点	120点	100点
3 学期	文章を書いてみよう(コラム等) 志望理由書・自己推薦書を書こう	授業課題 ワークシート記述	授業課題 ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
	評価点	80点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
----	---	----------	----

1 学 期	4 5 6 7	<p>[オリエンテーション] 実用書学習の内容を理解する。</p> <p>[直線・止め・曲線・間隔のトレーニング] 今まで書いてきた自分の字の基本点画を再確認し直すべきところは直していく。</p> <p>[古典から学ぶ漢字の字形] 九成宮醜泉銘などの古典を基に、美しい漢字の点画のバランスについて分析する。</p> <p>[平仮名・カタカナのマスター] 平仮名・カタカナの成り立ちから考察していき、美しい仮名文字を身に付ける。</p> <p>[日常使う言葉の練習] 漢字と仮名が混ざった状態の現代の言葉や文章をどうやってバランスを取り書いていくのかを考える。</p>	12
2 学 期	8 9 10 11 12	<p>[手紙を書こう] 大切な人にあてて便箋に直筆で手紙を書く。将来、お礼状等が書けるように。</p> <p>[レイアウトの練習(封筒や葉書の宛名書き)] 郵送のための封筒や葉書の一般的な宛名書きを学ぶ。</p> <p>[筆を使った実用書] 現代でも一般的に使用されるお祝いや冠婚葬祭での実用書について、小筆だけでなく筆ペンも使用し学ぶ。</p> <p>[年賀状を書こう] 親しい人やお世話になった人に年賀状を書く。</p>	14
3 学 期	1 2 3	<p>[文章を書いてみよう] 天声人語などの文章をいかに早く美しく書けるかを学ぶ</p> <p>[志望理由書・自己推薦書を書こう] 1年間学んだ文字の書き方を実践的に使用する。美しく書くのは勿論、自分の進路に向けて自分自身を振り返っていく。</p>	9

5 その他

- 授業に必要な道具は各自できちんと管理してください。
- 書道で進学を考えている人は必ず担当教諭に申し出てください。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	書道探究	単位数	2単位
		学年等	2年生クリエイション

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>探究の見方・考え方を働かせ、地域社会を担う生き方や働き方を考えながら、地域の活性化に向けた課題を解決するために必要な基本的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)地域に関わる様々な事象について探究するために必要な基本的な知識及び技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)芸術的な内容を日常生活と関連づけ、書道を通じた地域への着手方法を自ら考え、情報収集や整理分析をして、総括・表現できる力を養う。</p> <p>(3)地域に関わる様々な事象や地域の活性化に向けた課題に知的好奇心をもって向き合い、粘り強く考え行動し、課題の解決に向けて挑戦しようとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	改訂版 書道芸術 漢字編

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	書に関する見方・考え方を働かせて、書の表現方法や形式、書表現の多様性などについて書の創造的活動を通して理解するとともに、書の伝統に基づき、作品を工夫して表現するための技能を身に付け表している。	書の良さや美しさを感じ、書に関する見方・考え方を働かせて、自らの意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書を味わって深く捉えたりしている。	書の創造的活動の喜びを味わい、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	オリエンテーション 仮名の書(変体仮名、連綿) 篆刻 一字書作品制作	授業課題 ワークシート記述	授業課題 ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
	評価点	100点	80点	100点
2 学期	漢字仮名交じり書 古典臨書制作(半紙) 自分の名前の作品化 刻字作品制作 漢字仮名交じり書作品制作(装丁も含む)	授業課題 ワークシート記述	授業課題 ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
	評価点	120点	120点	100点
3 学期	漢字仮名交じり書作品完成(装丁も含む)	授業課題 ワークシート記述	授業課題 ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
	評価点	80点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学期	4	[オリエンテーション] 書道学習の内容を理解する。 [漢字の書(応用)] 筆遣い、墨の濃淡、線質、空間処理の復習。	24
	5	[仮名の書] 古典の特徴を発見、理解し、用筆や運筆、造形や線質の習得を目指す。 また、紙面全体における構図、空間処理の意味を考察させる。	
	6	[篆刻] 作品に押印する印を作成する。 [一字書作品制作] 学習した古典をもとに一字だけでの作品制作を行う。紙面構成を考え、紙面のどの位置に文字を書くのが効果的かを考察させる。	
	7	[鑑賞] 1学期作品の相互批評を行う。今までの学習の根拠に基づいた自分の考えを述べさせるとともに、作品を見てどのように感じたかを発表させる。	
2 学期	8	[漢字仮名交じり書] 身近な現代の文章を書くことにより、文字の持つ説得力を感じさせる。 [古典臨書制作(半紙)] 古典臨書学習で理解した表現技法を使い、古典の特徴を掴みながらそれを表現できるようにする。(公募展出品)	28
	9		
	10	[自分の名前の作品化] 自分の名前の文字を書道字典で調べ草稿を作り作品化する。 [刻字作品] 紙に筆書したものと木に刻したものの違いを感じ、立体的な書における表現効果を工夫し制作する。	
	11	[漢字仮名交じり書【思いを伝える書】制作](線質・潤滑・墨の濃淡・余白・紙面構成) 一人一人がテーマを持ち、漢字かな交じり書の作品制作を行う。 1年次よりも古典に根差した文字を使用した上で、自分のテーマに沿った作品を制作する。装丁も含め【思いを伝える】ため何が必要なのかを考察する。 [鑑賞] 2学期作品の相互批評を行う。今までの学習の根拠に基づいた自分の考えを述べさせるとともに、作品を見てどのように感じたかを発表させる。	
3 学期	1	【【思いを伝える書】完成】	18
	2	2年間の学習を通して習得した表現方法や技法を使い、“誰に、何を、どのように、伝えたいか”を考えながら魅力ある作品制作を目指す。特に言葉選び、イメージ設定、表現の工夫等について試行錯誤を重ね制作する。「書」を愛好し生活の中で楽しみながら、生涯に渡り生活をより一層豊かにする姿勢を大切にす。	
	3		

5 その他

- 授業は2時間連続で行います。
- 授業に必要な道具は各自できちんと管理してください。
- 書道で進学を考えている人は必ず担当教諭に申し出てください。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	楽典・ソルフェージュⅡ	単位数	3単位
		学年等	3年生クリエイション

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>楽典及びソルフェージュに関する学習を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、専門的な音楽に関する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 視唱、視奏及び聴音や読譜力に関する知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 探究活動や演奏研究をとおして、音楽を形づくっている要素の働きやその効果などに関する思考力、判断力、表現力等を育成する。</p> <p>(3) 音楽性豊かな表現をするため学習を大切にすることを養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書:教育芸術社 教芸音楽研究グループ「Joy of Music」</p> <p>副教材:The Basics of Music(単元によってワークシートも配付)・音楽通論</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<p>・聴音などにおいて、和声等を理解し、譜表に記譜する基礎的な能力を身に付けている。</p> <p>・各課題の調性や拍子を理解し、正確な音程やリズム、音価、和声を記譜する。調性に沿った臨時記号を選択し、記譜する力を身に付けている。</p>	<p>・旋律や和声を知覚し、それらの働きを感受しながら、調性感やリズム感をもって音楽を聴き取っている。</p> <p>・旋律やリズムを知覚し、それらの働きを感受しながら、調性感、和声感、リズム感を持った音楽表現をしようとしている。</p>	<p>・旋律やリズム、和声との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>・旋律やリズムの変化と、それらが生み出す曲想との関わりに関心を持ち、新曲視唱の活動に主体的・協働的に取り組もうとしている。</p>
評価点	150点	150点	150点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	〔楽典〕2年次の総復習・和音 〔視唱〕新曲視唱 〔聴音〕複旋律聴音・和声聴音	小テスト ワークシート記述	小テスト ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
		50点	50点	50点
2 学期	〔楽典〕調判定・実践問題 〔視唱〕新曲視唱 〔聴音〕複旋律聴音・和声聴音	小テスト ワークシート記述	小テスト ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
		50点	50点	50点
3 学期	〔楽典〕実践問題 〔視唱〕新曲視唱 〔聴音〕複旋律聴音・和声聴音	小テスト ワークシート記述	小テスト ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
		50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学期	4	〔楽典〕2年次の総復習・和音 ・音楽を専門的に学ぶ際に必須の「和音」に関する基礎知識を理解する。 ○-----	36
	5	〔視唱〕新曲視唱 ・音楽を構成する諸要素の基本的事項を理解し、読譜力を高める。	
	6	・新曲視唱に必要な発声の基礎と、基本的なリズム様式を身に付ける。	
	7	〔聴音〕複旋律聴音・和声聴音 ・音の響きや音型、リズムを理解し、譜表に記譜する基礎的な能力を身に付ける。 ○-----	
2 学期	8	〔楽典〕調判定・実践問題 ・これまで学習した内容を踏まえて調判定ができるようにする。 ○-----	42
	9	〔視唱〕新曲視唱	
	10	・音楽を構成する諸要素の基本的事項を理解し、読譜力を高める。 ・新曲視唱に必要な発声の基礎と、基本的なリズム様式を身に付ける。	
	11	〔聴音〕複旋律聴音・和声聴音	
12	・音の響きや音型、リズム、和声を理解し、譜表に記譜する基礎的な能力を身に付ける。 ○-----		
3 学期	1	〔楽典〕実践問題 ・これまで学習した内容を、総合問題等を解き理解する。	27
	2	〔視唱〕新曲視唱 ・音楽を構成する諸要素の基本的事項を理解し、読譜力を高める。 ・新曲視唱に必要な発声の基礎と、基本的なリズム様式を身に付ける。	
	3	〔聴音〕複旋律聴音・和声聴音 ・音の響きや音型、リズム、和声を理解し、譜表に記譜する基礎的な能力を身に付ける。 ○-----	

5 その他

- 聴音や視唱のテストを行います。
- 進学で必要な人は必ず担当教員に申し出て下さい。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	音楽探究	単位数	2単位
		学年等	3年生クリエイション

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、地域社会を担う自己の生き方や在り方をより深く考えながら、地域の活性化に向けた課題を発見し解決していくための実践的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 探究の過程において、地域に関わる様々な課題の発見と解決に必要な音楽に関する知識・技能を身に付け、課題にかかわる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。</p> <p>(2) 実社会や実生活及び音楽と自己の関わりから問いを見だし、音楽を通じた地域の課題解決に向けた方法を自ら考え、情報収集や整理・分析をして、まとめ・表現できるようにする。</p> <p>(3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いの良さを生かしながら、新たな価値を創造し、音楽を通じたより良い社会の実現に向けて取り組む態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書:教育芸術社 教芸音楽研究グループ「Joy of Music」</p> <p>副教材:The Basics of Music(単元によってワークシートも配付)・音楽通論</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<p>曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。</p>	<p>音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。</p>	<p>主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていこうとしている。</p>
評価点	150点	150点	150点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	〔歌唱〕斉唱 〔器楽〕三線 ☆西洋音楽史	実技テスト ワークシート記述	実技テスト ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
		50点	50点	50点
2 学 期	〔歌唱〕斉唱、合唱 〔器楽〕ヴァイオリン ☆演奏企画	実技テスト ワークシート記述	実技テスト ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
		50点	50点	50点
3 学 期	〔歌唱〕斉唱、合唱 〔器楽〕鍵盤楽器 ☆西洋音楽史	発表 ワークシート記述	発表 ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
		50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学期	4	〔歌唱〕 イタリア歌曲／合唱 ・イタリア語の発音とベルカント唱法を身に付ける。 ・リズムを意識して個性豊かな歌唱表現を創意工夫する。	24
	5	・イタリア語の特性とそれにふさわしい発声、拍子にあった歌唱表現に主体的に取り組む。 ○-----	
	6	〔器楽〕 三線「島人ぬ宝」「海の声」／リコーダーアンサンブル／吹奏楽 ・音色や奏法との関わりやその関わりによって生み出される表現上の効果を理解するとともに、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、個性豊かに器楽表現を創意工夫する。 ☆演奏企画	
	7	・主体的・協働的に演奏企画の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育む。 ○-----コンサート実施	
2 学期	8	〔歌唱〕 ドイツ歌曲／合唱 ・ドイツ語の発音を学び、強弱によるリズムと旋律との関わりを理解するとともに、曲にふさわしい表現で歌う。	28
	9	○-----	
	10	〔器楽〕 ヴァイオリン「歓喜の歌」「アメイジング・グレイス」／ハンドベル／吹奏楽 ・音色や奏法との関わりやその関わりによって生み出される表現上の効果を理解するとともに、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、個性豊かに器楽表現を創意工夫する。 ☆演奏企画	
	11	・主体的・協働的に演奏企画の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育む。 ☆大学体験授業 ・音楽大学での古楽器演奏体験やソルフェージュ講義体験を通じて 興味関心を高める。 ○-----コンサート実施	
3 学期	1	〔歌唱〕 斉唱、合唱 ・曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解するとともに、他者との調和を意識して歌う技能を身に付け、個性豊かに歌唱表現を創意工夫する。	18
	2	〔器楽〕 鍵盤楽器 ・音色や奏法との関わりやその関わりによって生み出される表現上の効果を理解するとともに、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、個性豊かに器楽表現を創意工夫する。 ☆西洋音楽史	
	3	・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解を深めるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え音楽のよさや美しさを深く味わって聴く。 ○-----コンサート実施	

5 その他

- 単元ごとに実技テストや発表を行います。
- 進学で必要な人は必ず担当教員に申し出て下さい。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	演奏・鑑賞研究	単位数	2単位
		学年等	3年生クリエイション

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>音楽作品の演奏研究を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、専門的な音楽に関する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 演奏及び鑑賞における客観性と多様性について理解を深めるとともに、理解したことを生かした演奏及び鑑賞をするために必要な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 音楽の様式を踏まえた演奏に関する思考力、判断力、表現力等を育成する。</p> <p>(3) 音楽作品を尊重して演奏したり鑑賞したりする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書・教育芸術社 教芸音楽研究グループ「Joy of Music」</p> <p>副教材：The Basics of Music(単元によってワークシートも配付)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	・聴音や視唱で扱った課題を読み取り、楽曲の構成や和声進行を理解する力を身に付けている。	・旋律や和声を知覚し、それらの働きを感受しながら、調性感やリズム感をもって音楽を聴き取っている。 ・旋律やリズムを知覚し、それらの働きを感受しながら、調性感、和声感、リズム感を持った音楽表現をしようとしている。	・旋律やリズム、和声との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 ・旋律やリズムの変化と、それらが生み出す曲想との関わりに関心を持ち、演奏に主体的・協働的に取り組もうとしている。
評価点	150点	150点	150点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	[楽曲分析] 視唱課題 [和声分析]聴音課題 [専攻実技課題]基礎練習・エチュード	実技課題 ワークシート記述	実技課題 ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
		50点	50点	50点
2 学期	[楽曲分析] 視唱課題 [和声分析]聴音課題 [専攻実技課題]エチュード・小品・協奏曲	実技課題 ワークシート記述	実技課題 ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
		50点	50点	50点
3 学期	[楽曲分析] 視唱課題 [和声分析]聴音課題 [専攻実技課題]エチュード・小品・協奏曲	実技課題 ワークシート記述	実技課題 ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
		50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学期	4	〔楽曲分析〕視唱課題 ・視唱で扱った教材(コールユーブンゲンの後半ページやコンコーネなど)を用いて、楽曲分析を行い、よりよい音楽表現を研究する。	24
	5	○----- 〔和声分析〕聴音課題 ・聴音で培った音の聴き取り方、感じ方をもとに、楽譜を和声分析できるようにする。	
	6	〔専攻実技課題〕基礎練習・エチュード・小品・コンチェルトなど ・個々に応じた実技課題作品の楽譜を読み取り、ふさわしい表現を研究する。	
	7	○-----	
2 学期	8	〔楽曲分析〕視唱課題 ・視唱で扱った教材(コールユーブンゲンの後半ページやコンコーネなど)を用いて、楽曲分析を行い、よりよい音楽表現を研究する。	28
	9	○-----	
	10	〔和声分析〕聴音課題 ・聴音で培った音の聴き取り方、感じ方をもとに、楽譜を和声分析できるようにする。	
	11	〔専攻実技課題〕基礎練習・エチュード・小品・コンチェルトなど ・個々に応じた実技課題作品の楽譜を読み取り、ふさわしい表現を研究する。	
12	○-----		
3 学期	1	〔楽曲分析〕視唱課題 ・視唱で扱った教材(コールユーブンゲンの後半ページやコンコーネなど)を用いて、楽曲分析を行い、よりよい音楽表現を研究する。	18
	2	〔和声分析〕聴音課題 ・聴音で培った音の聴き取り方、感じ方をもとに、楽譜を和声分析できるようにする。	
	3	〔専攻実技課題〕基礎練習・エチュード・小品・コンチェルトなど ○-----	

5 その他

- 単元ごとに実技テストや発表を行います。
- 進学に必要な人は必ず担当教員に申し出て下さい。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	描画表現	単位数	3単位
		学年等	3年生クリエイション

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>素描を中心とする美術の創造的な活動を通して、対象を深く観察しながら造形的な見方・考え方を働かせ、対象のイメージや形体、質感、空間から美しさや自分としての価値を見出し、専門的な美術に関する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)表現材料の特性について理解を深めるとともに、対象を深く観察して表現を工夫しながら的確に描写する技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)対象のイメージや形体、質感、空間を把握し表現するための思考力、判断力、表現力等を育成する。</p> <p>(3)主体的に表現を追求する態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書:高校美術</p> <p>副教材:基礎から学ぶ鉛筆デッサン(代々木ゼミナール) 自主教材:自主制作プリント</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	目的や意図に基づいて技法や材料などの特性を理解し、効果的な表現方法を創意工夫し、計画や手順を考えることができる	心の中の感情のイメージを基に主体的に主題を生成し、表現形式の特性と色や形などの創造的表現の構想が練ることができる。発想力や構想能力が独創的で優れている。	意欲的に絵画、彫刻、デザイン、工芸などの創造的活動に取り組もうとしている。 新しい課題にも意欲的に取り組んでいる。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	オリエンテーション 形と明暗をとらえる 身近なものを描く	・授業中の行動観察 ・作品分析	・作品分析	・授業中の行動観察 ・進捗表の記入 ・作品鑑賞力
	評価点	100点	100点	100点
2	静物を描く 石膏像を描く 自由テーマによる制作	・授業中の行動観察 ・作品分析	・作品分析	・授業中の行動観察 ・進捗表の記入 ・作品鑑賞力
	評価点	100点	100点	100点
3	自由テーマによる制作	・授業中の行動観察 ・作品分析	・作品分析	・授業中の行動観察 ・進捗表の記入 ・作品鑑賞力
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1	4	オリエンテーション ○描画表現の授業について	36
	5	形と明暗をとらえる ○幾何形体の石膏を描く ○デッサンの基礎を身につける	
	6	身近なものを描く	
	7	○さまざまな素材のモチーフを描く ○モチーフごとに異なる形、明暗、質感を捉える	
2	8	静物を描く ○複数のモチーフを組み合わせて描く	42
	9	○形や明暗、質感に加えて、空間を捉える	
	10	石膏像を描く ○複雑な形や明暗を捉える	
	11	自由テーマによる制作	
	12	○鉛筆や木炭などによる表現の可能性を探る ○モチーフを自由に選び、表現する	
3	1	自由テーマによる制作	27
	2	○鉛筆や木炭などによる表現の可能性を探る	
	3	○モチーフを自由に選び、表現する	

5 その他

--

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	美術探究	単位数	2単位
		学年等	3年生クリエイション

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、地域社会を担う自己の生き方や在り方をより深く考えながら、地域の活性化に向けた課題を発見し解決していくための実践的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 探究の過程において、地域に関わる様々な課題の発見と解決に必要な美術に関する知識・技能を身に付け、課題にかかわる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。</p> <p>(2) 実社会や実生活及び美術と自己の関わりから問いを見だし、美術を通じた地域の課題解決に向けた方法を自ら考え、情報収集や整理・分析をして、まとめ・表現できるようにする。</p> <p>(3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いの良さを生かしながら、新たな価値を創造し、美術を通じたより良い社会の実現に向けて取り組む態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書: 高校美術</p> <p>副教材: 基礎から学ぶ鉛筆デッサン(代々木ゼミナール) 自主教材: 自主制作プリント</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	目的や意図に基づいて技法や材料などの特性を理解し、効果的な表現方法を創意工夫し、計画や手順を考えることができる。	心の中の感情のイメージを基に主体的に主題を生成し、表現形式の特性と色や形などの創造的表現の構想が練ることができる。発想力や構想能力が独創的で優れている。	意欲的に絵画、彫刻、デザイン、工芸などの創造的活動に取り組もうとしている。 新しい課題にも意欲的に取り組んでいる。
評価点	600点	600点	600点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	オリエンテーション 陶芸作品 版画によるシルクスクリーン作品	授業中の行動観察 作品分析	作品分析	授業中の行動観察 進度表の記入 作品鑑賞能力
	評価点	200点	200点	200点
2	工芸作品 彫刻作品	授業中の行動観察 作品分析	作品分析	授業中の行動観察 進度表の記入 作品鑑賞能力
	評価点	300点	300点	300点
3	テンペラ絵画	授業中の行動観察 作品分析	作品分析	授業中の行動観察 進度表の記入 作品鑑賞能力
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1	4	オリエンテーション ○美術探究の授業内容について理解する。	24
	5	陶芸制作(マグカップ、茶碗) ○やきものとしての歴史や、制作工程を理解する。	
	6	○板作りによるマグカップの制作、ひも作りによる茶碗制作をする。 ○自分が制作した器が使える喜び、楽しさを味わう。	
	7	切り絵の制作 ○カッターナイフの使い方に慣れる 版画制作の制作(シルクスクリーン) ○オリジナル性を重視した T シャツのデザインを考える。 ○シルクスクリーン版画の特性を意識した上での配色計画を立てる。	
2	8	木彫りによる制作 ○機能性やデザイン性を考えた木のスプーン、フォーク、バターナイフの制作	28
	9	○用と美を意識した作品づくりを考える。	
	10	彫刻 ① 篆刻 自分の名前のデザインを考える	
	11	② 連想語から彫刻作品を考える。 ○言葉からの連想から具体的な形にすることを理解する。	
12	○隣にある面とのつながりを大切にして作品をつくる。		
3	1	テンペラ絵画 ○卵を使ったテンペラの表現方法を習得することにより、絵画の楽しさを感じ取る。	18
	2	作品展に向けて	
	3	○さわやかハイスクール等を利用し、公民館での作品展を行う	

5 その他

美術の領域の絵画、デザイン、工芸、彫刻、鑑賞の5つの分野を幅広く取り入れることにより、個々の美術の探究心を養うとともに自分の制作した作品を作品展に展示することで、多くの方々に見ていただくことにより作品づくりの意義を感じるようにする。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	造形表現	単位数	2単位
		学年等	3年生クリエイション

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	造形を中心とする学習や活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を豊かにし、生活や社会の中の多様な美術や美術文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)造形との調和について理解を深めるとともに、専門的な技能を身に付けるようにする。 (2)造形に関する表現及び鑑賞に関する創造的な思考力、判断力、表現力等を育成する。 (3)造形の可能性を追求する態度を養う。
使用教科書 副教材等	教科書:高校美術 副教材:基礎から学ぶ鉛筆デッサン(代々木ゼミナール) 自主教材:自主制作プリント

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	目的や意図に基づいて技法や材料などの特性を理解し、効果的な表現方法を創意工夫し、計画や手順を考えることができる	心の中の感情のイメージを基に主体的に主題を生成し、表現形式の特性と色や形などの創造的表現の構想が練ることができる。発想力や構想能力が独創的で優れている。	意欲的に絵画、彫刻、デザイン、工芸などの創造的活動に取り組もうとしている。 新しい課題にも意欲的に取り組んでいる。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	オリエンテーション ポスター制作	・授業中の行動観察 ・作品分析	・作品分析	・授業中の行動観察 ・進度表の記述分析 ・作品鑑賞力
	評価点	100点	100点	100点
2	モチーフを使った表現 イメージによる表現 自由テーマによる制作	・授業中の行動観察 ・作品分析	・作品分析	・授業中の行動観察 ・進度表の記述分析 ・作品鑑賞力
	評価点	100点	100点	100点
3	自由テーマによる制作	・授業中の行動観察 ・作品分析	・作品分析	・授業中の行動観察 ・進度表の記述分析 ・作品鑑賞力
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1	4	オリエンテーション ○造形表現の授業について	24
	5	ポスター制作	
	6	○与えられたテーマから発想し、ポスターを制作する。	
	7	○ポスターのもつ社会的な役割について考え、色や形の効果を狙いながら制作する。 ○アクリルガッシュの特性について理解し、意図に応じた効果的な表現を探る。	
2	8	モチーフを使った表現	28
	9	○複数のモチーフを組みあわせて構成し、表現する。	
		イメージによる表現	
	10	○「輝く」「浸食」などの言葉からイメージした色と形を表現する。	
	11	自由テーマによる制作 ○絵画やデザインの制作を通じて、表現の可能性を探る	
12	○自らテーマを決め、発想・構想し表現する		
3	1	自由テーマによる制作	18
	2	○絵画やデザインの制作を通じて、表現の可能性を探る	
	3	○自らテーマを決め、発想・構想し表現する	

5 その他

--

R7年度年間指導計画表(シラバス)

科目名	書道実習	単位数	3単位
		学年等	3年生クリエイション

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための応用的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 主体的に書の多様な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	書Ⅱ(光村図書)、改訂版 書道芸術 漢字編

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	書に関する見方・考え方を働かせて、書の表現方法や形式、書表現の多様性などについて書の創造的活動を通して理解するとともに、書の伝統に基づき、作品を工夫して表現するための技能を身に付け表している。	書の良さや美しさを感じ、書に関する見方・考え方を働かせて、自らの意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書を味わって深く捉えたりしている。	書の創造的活動の喜びを味わい、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	書以外の美術作品の鑑賞 中国の書と日本の書 水墨画から空間を学ぶ 王鐸・鉄斎・継色紙から行の流れを学ぶ	授業課題 ワークシート記述	授業課題 ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
	評価点	110点	100点	120点
2	墨を自在に使おう 筆の特徴を知ろう 近現代作家を学ぶ 目的に応じた作品を作ろう 鑑賞を通して評価について考える 作品制作	授業課題 ワークシート記述	授業課題 ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
	評価点	120点	130点	110点

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
3	作品制作	授業課題 ワークシート記述	授業課題 ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
	評価点	70点	70点	70点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1	4	[書以外の美術作品の鑑賞] 日本だけでなく海外の絵画・彫刻・写真作品を鑑賞し書道との差や共通点を見つける。	36
	5	[中国の書と日本の書] 書道という観点で日本と中国の書道の差や共通点を見つける。	
	6	[水墨画から空間を学ぶ] 中国・日本の水墨画から空間の使い方を鑑賞・考察する。	
	7	[王鐸・鉄斎・継色紙から行の流れを学ぶ] 中国における王鐸の空間を生かした行の作り方、日本の鉄斎の行の流し方、仮名の継色紙に含まれる行の流れや空間の活かし方を臨書を通じて学ぶ。	
2	8	[墨を自在に使おう]	42
	9	松煙墨・油煙墨を使い墨の濃さによる色や表現の違いを考察する。	
	10	[筆の特徴を知ろう]	
	11	毛の種類・長さによって変わる表現の違いを実際に書き考察する。	
	12	[近現代作家を学ぶ] 近現代作家の作品の鑑賞を行い、筆・墨・技法・空間等の表現方法について考察する。 [目的に応じた作品を作ろう] 制作目的を考え、書きたい言葉を見つけ、その言葉に合わせて古典・近現代の作品から自分の目的に近いものを見つけ、制作するための流れを作る。 [鑑賞を通して評価について考える] 自分の作品制作を通じ、評価について考える。 作品を制作していく上で評価してほしい部分、注目してほしい部分を項目立てる。 最終目標と到達度について考察する。 [作品制作] 評価を考えたいうえで自らの作品について再考し、制作していく。	
3	1	[作品制作]	27
	2	卒業作品の制作を行う。	

5 その他

- 授業に必要な道具は各自できちんと管理してください。
○書道で進学を考えている人は必ず担当教諭に申し出てください。

R7 年度年間指導計画表(シラバス)

科目名	書道探究	単位数	2単位
		学年等	3年生クリエイション

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	<p>探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、地域社会を担う自己の生き方や在り方をより深く考えながら、地域の活性化に向けた課題を発見し解決していくための実践的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 探究の過程において、地域に関わる様々な課題の発見と解決に必要な書道に関する知識・技能を身に付け、課題にかかわる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。</p> <p>(2) 実社会や実生活及び書道と自己の関わりから問いを見だし、書道を通じた地域の課題解決に向けた方法を自ら考え、情報収集や整理・分析をして、まとめ・表現できるようにする。</p> <p>(3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いの良さを生かしながら、新たな価値を創造し、書道を通じたより良い社会の実現に向けて取り組む態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	書Ⅱ(光村図書)、改訂版 書道芸術 漢字編

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	書に関する見方・考え方を働かせて、書の表現方法や形式、書表現の多様性などについて書の創造的活動を通して理解するとともに、書の伝統に基づき、作品を工夫して表現するための技能を身に付け表している。	書の良さや美しさを感じ、書に関する見方・考え方を働かせて、自らの意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書を味わって深く捉えたりしている。	書の創造的活動の喜びを味わい、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	オリエンテーション 仮名の書(変体仮名、連綿) 篆刻 一字書作品制作	授業課題 ワークシート記述	授業課題 ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
	評価点	100点	80点	100点
2	漢字仮名交じり書 古典臨書制作(半紙) 自分の名前の作品化 刻字作品制作 漢字仮名交じり書作品制作(装丁も含む)	授業課題 ワークシート記述	授業課題 ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
	評価点	120点	120点	100点
3	漢字仮名交じり書作品完成(装丁も含む)	授業課題 ワークシート記述	授業課題 ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
	評価点	80点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1	4	[オリエンテーション] 書道学習の内容を理解する。 [漢字の書(応用)] 筆遣い、墨の濃淡、線質、空間処理の復習。	24
	5	[仮名の書] 古典の特徴を発見、理解し、用筆や運筆、造形や線質の習得を目指す。 また、紙面全体における構図、空間処理の意味を考察させる。	
	6	[篆刻] 作品に押印する印を作成する。 [一字書作品制作] 学習した古典をもとに一字だけでの作品制作を行う。紙面構成を考え、紙面のどの位置に文字を書くのが効果的かを考察させる。	
	7	[鑑賞] 1学期作品の相互批評を行う。今までの学習の根拠に基づいた自分の考えを述べさせるとともに、作品を見てどのように感じたかを発表させる。	
2	8	[漢字仮名交じり書] 身近な現代の文章を書くことにより、文字の持つ説得力を感じさせる。 [古典臨書制作(半紙)] 古典臨書学習で理解した表現技法を使い、古典の特徴を掴みながらそれを表現できるようにする。(公募展出品)	28
	9		
	10	[自分の名前前の作品化] 自分の名前前の文字を書道字典で調べ草稿を作り作品化する。 [刻字作品] 紙に筆書したものと木に刻したものの違いを感じ、立体的な書における表現効果を工夫し制作する。	
	11	[漢字仮名交じり書【思いを伝える書】制作](線質・潤滑・墨の濃淡・余白・紙面構成) 一人一人がテーマを持ち、漢字かな交じり書の作品制作を行う。 1年次よりも古典に根差した文字を使用した上で、自分のテーマに沿った作品を制作する。装丁も含め【思いを伝える】ため何が必要なのかを考察する。	
12	[鑑賞] 2学期作品の相互批評を行う。今までの学習の根拠に基づいた自分の考えを述べさせるとともに、作品を見てどのように感じたかを発表させる。		
3	1	[[【思いを伝える書】完成]	18
	2	2年間の学習を通して習得した表現方法や技法を使い、“誰に、何を、どのように、伝えたいか”を考えながら魅力ある作品制作を目指す。特に言葉選び、イメージ設定、表現の工夫等について試行錯誤を重ね制作する。「書」を愛好し生活の中で楽しみながら、生涯に渡り生活をより一層豊かにする姿勢を大切にす。	

5 その他

- 授業は2時間連続で行います。
- 授業に必要な道具は各自できちんと管理してください。
- 書道で進学を考えている人は必ず担当教諭に申し出てください。

R7年度年間指導計画表(シラバス)

科目名	古典研究	単位数	2単位
		学年等	3年生クリエイション

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の多様な文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 古典作品の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、創造的に表現するための技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 古典作品のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し表現を工夫したり、古典作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化を尊重し、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	書Ⅱ(光村図書)、改訂版 書道芸術 漢字編

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	書に関する見方・考え方を働かせて、書の表現方法や形式、書表現の多様性などについて書の創造的活動を通して理解するとともに、書の伝統に基づき、作品を工夫して表現するための技能を身に付け表している。	書の良さや美しさを感じ、書に関する見方・考え方を働かせて、自らの意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書を味わって深く捉えたりしている。	書の創造的活動の喜びを味わい、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	中国書道の古典鑑賞 中国書道史 時代による古典の比較・分析 臨書作品制作 日本書道の古典鑑賞	授業課題 ワークシート記述	授業課題 ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
	評価点	110点	100点	120点
2	日本書道史 時代による古典の比較・分析 臨書作品制作 倣書作品制作	授業課題 ワークシート記述	授業課題 ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
	評価点	120点	130点	110点

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
3	古典作品制作	授業課題 ワークシート記述	授業課題 ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
	評価点	70点	70点	70点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1	4	[中国書道の古典鑑賞] 時代を追って古典の鑑賞をし、感じたままのイメージをまとめる。	24
	5	[中国書道史] 中国書道史を学習する。	
	6	[時代による古典の比較・分析] 半紙に臨書をしながら古典ごとの筆法・技法を考察し、ワークシートにまとめる。 時代別に書体ごとの分類を行う。	
	7	[臨書作品制作] 学んだ中国古典の中での作品制作をする。	
2		[日本書道の古典鑑賞] 半紙に臨書をしながら古典ごとの筆法・技法を考察する。	28
		[日本書道史] 日本書道史を学習する。	
		[時代による古典の比較・分析] 半紙に臨書をしながら古典ごとの筆法・技法を考察し、ワークシートにまとめる。 時代別に書体ごとの分類を行う。	
		[臨書作品制作] 学んだ日本古典の中での作品制作をする。	
3		[倣書作品制作] 研究分析した古典作品の中から一つ選び、漢詩と短歌をそれぞれ1作品ずつ倣書作品を制作する	18
		[古典作品制作] 倣書作品を制作後、再度臨書作品を制作する。	

5 その他

<p>○授業に必要な道具は各自できちんと管理してください。</p> <p>○書道で進学を考えている人は必ず担当教諭に申し出てください。</p>

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	英語コミュニケーション I	単位数	3単位
		学年等	1年生全

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>日常的・社会的な話題について、支援を活用しながら、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる能力を養う。 2.必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる能力を養う。 3.基本的な語句や文を用いて、情報や考えを話すことによって、相手と共有したりやりとりを続けたり、論理的に伝え合ったりすることができる能力を養う。 4.基本的な語句や文を用いて、書くことによって情報や考えを論理的に伝えることができる能力を養う。
使用教科書 副教材等	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書:BIG DIPPER English Communication I (数研出版) ・副教材:BIG DIPPER English Communication I ベーシックノート(数研出版) 英単語ターゲット 1900 6訂版(旺文社) リスニング問題集 ALL EARS INTRODUCTORY(美誠社) 英語総合問題集 Wonderland 3rd Edition 1(いっぴな書店) 英語総合問題集 Wonderland 3rd Edition 1.5(いっぴな書店) 高校英語のための導入ワーク 高校英語入門(東京書籍)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。 	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自立的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p>
評価点	250点	250点	250点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	Lesson1 Have a Good Day with a Good Breakfast Lesson2 A Mascot with a Mission Lesson3 Two Kinds of Leadership Lesson4 Older Sports and Newer	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・課題考査 ・小テスト ・学びの基礎診断 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・パフォーマンス課題 	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・パフォーマンス課題 ・学習課題

	Sports			
	300点	100点	100点	100点
2学期	Lesson5 AI Meets the Arts Lesson6 What Is Happiness? Lesson7 The Maldives: A Dream Destination? Lesson8 Kazu Hiro: In Pursuit of a Dream	・定期考査 ・課題考査 ・小テスト ・学びの基礎診断	・定期考査 ・パフォーマンス課題	・小テスト ・パフォーマンス課題 ・学習課題
	300点	100点	100点	100点
3学期	Lesson9 From Recycle to Upcycle Lesson10 Diversity at Japanese Companies	・定期考査 ・課題考査 ・小テスト ・学びの基礎診断	・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・学びの基礎診断	・小テスト ・パフォーマンス課題 ・学習課題
	150点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1学期	4	Lesson1 Have a Good Day with a Good Breakfast (文法) 過去形・現在形・未来を表す表現／現在完了／現在進行形／命令文(レシピ)	10
	5	Lesson2 A Mascot with a Mission (文法) 文型①<SVC><SVO>／不定詞<to+動詞の原形>／動名詞 1.学期中間考査	10
	6	Lesson3 Two Kinds of Leadership (文法) 受動態<be 動詞+過去分詞>／関係代名詞 who・which・that／文型②<SVOO> <SVOC>	10
	7	Lesson4 Older Sports and Newer Sports (文法) 最上級<the+最上級>／比較級<比較級+than~>／原級<as+原級+as~> 1.学期期末考査 学びの基礎診断	10

2 学 期	8	Lesson5 AI Meets the Arts (文法)名詞を修飾する分詞／形式主語<It is ~ that>／形式主語<It is ~ (for A) to do>	10
	9		
	10	Lesson6 What Is Happiness? (文法)過去完了<had + 過去分詞>／関係副詞 where／関係副詞 when2学期中間考査 学びの基礎診断(4 技能 GTEC)	10
	11	Lesson7 The Maldives: A Dream Destination? (文法)SVOC(V=知覚動詞・使役動詞, C=原形不定詞)／SVO+to 不定詞／SVOC(V=知覚動詞, C=現在分詞 パフォーマンス課題2	12
	12	Lesson8 Kazu Hiro: In Pursuit of a Dream (文法)関係副詞 how／関係代名詞 what／関係副詞 why／強調構文<It is[was] ~ that>2学期期末考査	10
3 学 期	1	学びの基礎診断	12
	2	Lesson9 From Recycle to Upcycle (文法)つなぎ表現／分詞構文①「～するとき」／間接疑問文／現在完了進行形<have [has] been ~ing> パフォーマンス課題3	11
	3	Lesson10 Diversity at Japanese Companies (文法)仮定法過去／分詞構文②「～して,そして…」／過去の習慣 would／助動詞+be+過去分詞学年末考査	

5 その他

- 英語コミュニケーションⅠの授業では、ペア学習やグループ学習を取り入れ、「聞くこと」、「話すこと」、「読むこと」、「書くこと」を総合的に育成していきます。様々な意見や考えに触れながら協同的に学習を進めていきます。
- 学期ごとに教科書の内容と関連させたパフォーマンス課題を設定し、個人あるいはグループで課題に取り組んでもらいます。学習した内容がベースとなるので、日々の授業を大切に、積極的に取り組みましょう。
- 授業の中や学習課題の提出、あるいはパフォーマンステストにおいて、ICT 機器を活用していきます。
- 学びの基礎診断を各学期の評価に組み込みます。
- 「高校英語のための導入ワーク 高校英語入門」を橋渡し教材として使用し、基礎的な読解力や文法力の確認に活用します。
- 「英語総合問題集 Wonderland 3rd Edition 1」及び「英語総合問題集 Wonderland 3rd Edition 1.5」を短期・長期休業中の課題として使用します。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	論理・表現 I	単位数	3単位
		学年等	1年生普通

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>外国語による話すこと(やり取り・発表)、書くことの言語活動及びこれらをつなげた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次の通り育成することを目指す。</p> <p>(1)外国語の語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題について外国語で適切に表現したり伝えあったりすることができる力を養う。</p> <p>(3)外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書：Vision Quest English Logic and Expression I Standard (啓林館)</p> <p>副教材：Vision Quest Standard WORKBOOK (啓林館)</p> <p>Vision Quest 総合英語 (啓林館)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	コミュニケーションで必要な習得すべき知識や重要な概念を理解し、それらを既習の知識や技能と効果的に関連付け、実際のコミュニケーションの場面で活用できる技能を身に付けている。	具体的な課題を設定し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、情報を整理しながら考えを形成し、これらを論理的に適切な英語で表現する力を身に付けている。	知識・技能の習得に粘り強く取り組み、実際のコミュニケーション活動においては、情報や自分自身の考えを表現し、伝え合うことに主体的に関わり、課題や日々の授業の振り返りを通じて、自らの学習を深化させようとしている。
評価点	250点	250点	250点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	Lesson 1 I want to introduce my new friend. Lesson 2 Do you want to join our show? Lesson 3 I'm planning a day trip this weekend. Lesson 4 Have you ever tried it before?	・定期考査 ・課題考査 ・小テスト ・学びの基礎診断	・定期考査 ・パフォーマンス課題	・小テスト ・パフォーマンス課題 ・学習課題
	300点	100点	100点	100点
2 学期	Lesson 5 What do you want to do after high school? Lesson 6 Did you hear about the new	・定期考査 ・課題考査 ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンス課題	・小テスト ・パフォーマンス課題

	shop? Lesson 7 I'm happy to have you with us. Lesson 8 What sport do you like playing? Lesson 9 Digital media has come a long way.	・学びの基礎診断		・学習課題
	300点	100点	100点	100点
3 学期	Lesson 10 That's why I decided to go back. Lesson 11 Which do you prefer, cheaper beans or expensive ones? Lesson 12 I think it's a good idea.	・定期考査 ・課題考査 ・小テスト ・学びの基礎診断	・定期考査 ・パフォーマンス課題	・小テスト ・パフォーマンス課題 ・学習課題
	150点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学期		Lesson 1 I want to introduce my new friend. <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> 文法 文の種類 話題 紹介 </div> <div> 機能 応答する／理由を述べる 表現 話す[発表]／書く </div> </div>	8
		Lesson 2 Do you want to join our show? <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> 文法 文型と動詞 話題 興味・関心 </div> <div> 機能 賛成・反対する／聞き直す 表現 話す[やり取り]／書く </div> </div> <p style="text-align: right;">1. 学期中間考査</p>	9
		Lesson 3 I'm planning a day trip this weekend. <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> 文法 時制 話題 旅行・観光 </div> <div> 機能 激励する・励ます／計画する・予定する 表現 話す[発表]／書く </div> </div> <p style="text-align: right;">パフォーマンス課題 1</p>	9
		Lesson 4 Have you ever tried it before? <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> 文法 完了形 話題 趣味・関心 </div> <div> 機能 経験を尋ねる／初めての経験を述べる 表現 話す[やり取り]／書く </div> </div> <p style="text-align: right;">1. 学期期末考査</p>	9

2 学 期	Lesson 5 What do you want to do after high school? 文法 助動詞 機能 許可を求める／依頼する／義務・必要を表す 話題 将来・進路 表現 話す[やり取り] /書く	8
	Lesson 6 Did you hear about the new shop? 文法 受動態 機能 原因・影響を表す／喜び・驚きを表す 話題 日常生活 表現 話す[やり取り] /書く	9
2学期中間考査	
	Lesson 7 I'm happy to have you with us. 文法 不定詞 機能 感謝する／謝罪する／弁解する 話題 交流・交際 表現 話す[やり取り] /書く	9
	Lesson 8 What sport do you like playing? 文法 動名詞 機能 誘う・申し出る／推薦する 話題 スポーツ・健康 表現 話す[発表] /書く	9
.....パフォーマンス課題2		
Lesson 9 Digital media has come a long way. 文法 分詞 機能 描写する／判断の根拠を述べる 話題 メディア・コミュニケーション 表現 話す[発表] /書く	9	
.....2学期期末考査		
3 学 期	Lesson 10 That's why I decided to go back. 文法 関係詞 機能 定義する／言い換える／経緯を説明する 話題 文化・異文化理解 表現 話す[発表] /書く	8
	Lesson 11 Which do you prefer, cheaper beans or expensive ones? 文法 比較 機能 提案する／称賛する 話題 国際問題 表現 話す[やり取り] /書く	9
パフォーマンス課題3	
Lesson 12 I think it's a good idea. 文法 仮定法 機能 助言を求める・助言する／願望を表す 話題 社会問題 表現 話す[発表] /書く	9	
.....学年末考査		

5 その他

- 論理・表現 I の授業の1単位は ALT の英会話の授業になります。
- パフォーマンス課題の一部は ICT 機器を活用して行います。
- 表現活動の基礎を支える文法や語法の理解に努め、演習を繰り返す中で定着できるように励んでください。
- 論理・表現 I の授業では、自分の意見を話したり、書いたりして相手に伝えたり、発表したりする表現活動を中心に行います。間違いを恐れずに、主体的に取り組んでください。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	論理・表現 I	単位数	2単位
		学年等	1年生体育

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>外国語による話すこと(やり取り・発表)、書くことの言語活動及びこれらをつなげた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次の通り育成することを目指す。</p> <p>(1)外国語の語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題について外国語で適切に表現したり伝えあったりすることができる力を養う。</p> <p>(3)外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書：Vision Quest English Logic and Expression I Standard (啓林館)</p> <p>副教材：Vision Quest Standard WORKBOOK (啓林館)</p> <p>Vision Quest 総合英語 (啓林館)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	コミュニケーションで必要な習得すべき知識や重要な概念を理解し、それらを既習の知識や技能と効果的に関連付け、実際のコミュニケーションの場面で活用できる技能を身に付けている。	具体的な課題を設定し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、情報を整理しながら考えを形成し、これらを論理的に適切な英語で表現する力を身に付けている。	知識・技能の習得に粘り強く取り組み、実際のコミュニケーション活動においては、情報や自分自身の考えを表現し、伝え合うことに主体的に関わり、課題や日々の授業の振り返りを通じて、自らの学習を深化させようとしている。
評価点	250点	250点	250点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	Lesson 1 I want to introduce my new friend. Lesson 2 Do you want to join our show? Lesson 3 I'm planning a day trip this weekend. Lesson 4 Have you ever tried it before?	・定期考査 ・課題考査 ・小テスト ・学びの基礎診断	・定期考査 ・パフォーマンス課題	・小テスト ・パフォーマンス課題 ・学習課題
	300点	100点	100点	100点
2 学期	Lesson 5 What do you want to do after high school? Lesson 6 Did you hear about the new	・定期考査 ・課題考査 ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンス課題	・小テスト ・パフォーマンス課題

	shop? Lesson 7 I'm happy to have you with us. Lesson 8 What sport do you like playing? Lesson 9 Digital media has come a long way.	・学びの基礎診断		・学習課題
	300点	100点	100点	100点
3 学期	Lesson 10 That's why I decided to go back. Lesson 11 Which do you prefer, cheaper beans or expensive ones? Lesson 12 I think it's a good idea.	・定期考査 ・課題考査 ・小テスト ・学びの基礎診断	・定期考査 ・パフォーマンス課題	・小テスト ・パフォーマンス課題 ・学習課題
	150点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学期		Lesson 1 I want to introduce my new friend. <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 文法 文の種類 機能 応答する／理由を述べる </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 話題 紹介 表現 話す[発表]／書く </div>	5
		Lesson 2 Do you want to join our show? <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 文法 文型と動詞 機能 賛成・反対する／聞き直す </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 話題 興味・関心 表現 話す[やり取り]／書く </div> <p style="text-align: right;">1. 学期中間考査</p>	5
		Lesson 3 I'm planning a day trip this weekend. <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 文法 時制 機能 激励する・励ます／計画する・予定する </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 話題 旅行・観光 表現 話す[発表]／書く </div> <p style="text-align: right;">パフォーマンス課題 1</p>	8
		Lesson 4 Have you ever tried it before? <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 文法 完了形 機能 経験を尋ねる／初めての経験を述べる </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 話題 趣味・関心 表現 話す[やり取り]／書く </div> <p style="text-align: right;">1. 学期期末考査</p>	5

2 学 期	Lesson 5 What do you want to do after high school? 文法 助動詞 機能 許可を求める／依頼する／義務・必要を表す 話題 将来・進路 表現 話す[やり取り] / 書く 5
	Lesson 6 Did you hear about the new shop? 文法 受動態 機能 原因・影響を表す／喜び・驚きを表す 話題 日常生活 表現 話す[やり取り] / 書く2学期中間考査 5
	Lesson 7 I'm happy to have you with us. 文法 不定詞 機能 感謝する／謝罪する／弁解する 話題 交流・交際 表現 話す[やり取り] / 書く 5
	Lesson 8 What sport do you like playing? 文法 動名詞 機能 誘う・申し出る／推薦する 話題 スポーツ・健康 表現 話す[発表] / 書くパフォーマンス課題2 8
	Lesson 9 Digital media has come a long way. 文法 分詞 機能 描写する／判断の根拠を述べる 話題 メディア・コミュニケーション 表現 話す[発表] / 書く2学期期末考査 5
3 学 期	Lesson 10 That's why I decided to go back. 文法 関係詞 機能 定義する／言い換える／経緯を説明する 話題 文化・異文化理解 表現 話す[発表] / 書く 5
	Lesson 11 Which do you prefer, cheaper beans or expensive ones? 文法 比較 機能 提案する／称賛する 話題 国際問題 表現 話す[やり取り] / 書くパフォーマンス課題3 8
	Lesson 12 I think it's a good idea. 文法 仮定法 機能 助言を求める・助言する／願望を表す 話題 社会問題 表現 話す[発表] / 書く学年末考査 6

5 その他

- パフォーマンス課題の一部は ICT 機器を活用して行います。
- 表現活動の基礎を支える文法や語法の理解に努め、演習を繰り返す中で定着できるように励んでください。
- 論理・表現 I の授業では、自分の意見を話したり、書いたりして相手に伝えたり、発表したりする表現活動を中心に行います。間違いを恐れずに、主体的に取り組んでください。

科目名	英語コミュニケーションⅡ	単位数	4単位
		学年等	2年生全

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	英語学習の特質を踏まえ、聞くこと、読むこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くことの5つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、「知識・技能」「思考・判断・表現」を一体的に育成するとともに、その過程を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を育成する。
使用教科書 副教材等	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書:MY WAY English Communication II(三省堂書店) ・副教材:My WAY English Communication II WORKBOOK STANDARD(三省堂書店) 英単語ターゲット 1900(旺文社) Listening Laboratory Standardα(数研出版) CROSSBEAM B2 PS(エミル出版) Applause 3訂版 Vol.2 ※普通科のみ使用 2026共通テストリスニング対策 CLOSE-UP Listening 分野別10分+30分(啓隆社編集部) ※フロンティア用 共通テストリーディング分野別(エミル出版) ※フロンティア用

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を身に付けている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。
評価点	250点	250点	250点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	Lesson 1 Dances Around the World Lesson 2 Katsura Sunshine – Making the World Laugh Lesson 3 Living with Nature – Takita Asuka’s Journey Lesson 4 Sesame Street	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・学びの基礎診断 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・課題テスト ・パフォーマンステスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・パフォーマンステスト ・学習課題 ・授業観察
	300点	100点	100点	100点
2 学 期	Lesson 5 From Landmines to Herbs Lesson 6 Murals – The Power of Public Art Lesson 7 “Englises” in the World Lesson 8 Deepika Kurup – The Science Behind Clean Water	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・学びの基礎診断 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・課題テスト ・パフォーマンステスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・パフォーマンステスト ・学習課題 ・授業観察

	300点	100点	100点	100点
3学期	Lesson 9 The World's Poorest President Lesson 10 Living in an E-Society—The Pros and Cons	・定期考査 ・小テスト ・学びの基礎診断	・定期考査 ・課題テスト ・パフォーマンステスト ・学びの基礎診断	・定期考査 ・小テスト ・パフォーマンステスト ・学習課題 ・授業観察
	150点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
1学期	4	Lesson1 Dances Around the World (活動) 世界各地のさまざまなダンスについて理解して、日本の踊りについて紹介することができる。 (文法) SVO(O=that/what 節)、SVO(O=if/whether 節) SVO1O2(O2=if/that/what 節)の使い方を確認する。	12	
	5	Lesson2 Katsura Sunshine – Making the World Laugh (活動) 落語家である桂三輝さんの落語についての考え方や取り組み方について理解して、日本文化について紹介することができる。 (文法) 形式主語の it、形式目的語の it の使い方を確認する。	12	
			1学期中間考査	4
	6	Lesson3 Living with Nature – Takita Asuka's Journey (活動) 滝田明日香さんが行う野生動物の保護活動について理解して、絶滅の危機にある動植物の現状についてまとめ、グループで発表することができる。 (文法) 現在完了形、現在完了進行形、過去完了形、過去完了進行形を用いた文構造について理解する。	12	
	7	Lesson4 Sesame Street (活動) 『セサミストリート』に込められたメッセージについて理解して、自分がお勧めしたいキャラクターについて発表することができる。 (文法) SVOC(V=知覚動詞/使役動詞)、help+O+動詞の原形を用いた文構造について理解する。	12	
			パフォーマンス課題1 1学期期末考査	4
		学びの基礎診断		

2 学 期	8	Lesson5 From Landmines to Herbs (活動) 篠田ちひろさんのカンボジアでの活動について理解して、参加してみたい国際ボランティア活動について話すことができる。 (文法) 関係代名詞、前置詞+関係代名詞、関係代名詞・関係副詞の非制限用法を用いた文構造について理解する。	12	
	9	Lesson6 Murals – The Power of Public Art (活動) 世界中の壁画プロジェクトについて理解して、創立記念行事で校舎の外壁に自分が描きたい絵について話すことができる。 (文法) 助動詞(過去形)、助動詞+have+過去分詞、完了不定詞を用いた文構造について理解する。	12	
	10		2学期中間考査 4	
	----- 学びの基礎診断(4技能 GTEC)			
	11	Lesson7 "Englishes" in the World (活動) 世界のさまざまな英語について、理解して楽しみながらできる英語の学習方法について話し合うことができる。 (文法) 分詞構文、受け身・完了形の分詞構文、付帯状況 with を用いた文構造について理解する。	12	
3 学 期	12	Lesson8 Deepika Kurup –The Science Behind Clean Water (活動) 世界の水問題とその解決のための取り組みについて理解して、社会問題に取り組む発明家や起業家について発表することができる。 (文法) 仮定法過去・過去完了、if を使わない仮定法、no matter + 疑問詞を用いた文構造について理解する。	12	
			パフォーマンス課題2 2学期期末考査 4	
	1	学びの基礎診断	12	
3 学 期	2	Lesson9 The World's Poorest President (活動) ホセ・ムヒカさんの幸せに対する考え方について理解して、幸せを感じる時について意見交換をすることができる。 (文法) 同格の that 節、強調構文、倒置、省略を用いた文構造について理解する。	12	
	3	Lesson10 Living in an E-Society—The Pros and Cons (活動) e スポーツや電子書籍の長所と短所について理解し、e スポーツや電子書籍の長所と短所について議論することができる。 (文法) 多様な語句や文、議論でよく使う表現について理解する。	4	
			パフォーマンス課題3 学年末考査	

5 その他

- 学期ごとにパフォーマンス課題を設定し、個人あるいはグループで課題に取り組んでもらいます。
- パフォーマンス課題の一部は ICT 機器を活用して行います。
- 英語コミュニケーションⅡの授業では、ペア学習やグループ学習を取り入れ、様々な意見や考えに触れながら、「聞く力」、「話す力」、「読む力」、「書く力」をバランスよく育成します。日々の授業を大切に、積極的に取り組みましょう。

科目名	論理・表現Ⅱ	単位数	2単位
		学年等	2年生全

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>外国語による話すこと(やり取り・発表)、書くことの言語活動及びこれら結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次の通り育成することを目指す。</p> <p>(1)外国語の語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題について外国語で適切に表現したり伝えあったりすることができる力を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書： be English Logic and Expression Ⅱ(いいずな書店)</p> <p>副教材： be clear English Logic and Expression Ⅱ Grammar Book(いいずな書店)</p> <p>Bright Stage 英文法・語法問題(桐原書店)</p> <p>総合英語 be Voyage to English Grammar 4th Edition(いいずな書店)</p> <p>Steady Steps to Writing 和文分析から始める英作文(数研出版)※フロンティア用</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	習得すべき知識や重要な概念等を理解している。それらを既有的知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、概念等として理解したり、技能を習得したりしている。	知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けている。	知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしている。
評価点	250点	250点	250点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	Lesson 1 Your Interests Lesson 2 Your Daily Life Lesson 3 Your School Life Lesson 4 Media Literacy Lesson 5 Helping Others Lesson 6 Introducing Your Town	・定期考査 ・課題テスト ・小テスト ・学びの基礎診断	・定期考査 ・パフォーマンステスト	・小テスト ・パフォーマンステスト ・学習課題 ・スタディーサプリ
	300点	100点	100点	100点
2 学期	Lesson 7 Languages of the World Lesson 8 Imagining the Future Lesson 9 Happiness and Stress Lesson 10 Comparing Countries Lesson 11 Cultural Diversity Lesson 12 Japanese Customs	・定期考査 ・課題テスト ・小テスト ・学びの基礎診断	・定期考査 ・パフォーマンステスト	・小テスト ・パフォーマンステスト ・学習課題 ・スタディーサプリ
	300点	100点	100点	100点

3 学 期	Lesson 13 Population Issues Lesson 14 Rights and Equality Lesson 15 Think Globally, Act Locally	・定期考査 ・課題テスト ・小テスト ・学びの基礎診断	・定期考査 ・パフォーマンス テスト	・小テスト ・パフォーマンス テスト ・学習課題 ・スタディーサプリ
	150点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
1 学 期	4	Lesson 1 Your Interests 【Grammar】現在形、過去形、完了形、未来の表現 【Activity】興味をもっていること・クラブ活動について伝える	6	
	5	Lesson 2 Your Daily Life 【Grammar】不定詞(名詞用法)、動名詞、名詞節 【Activity】日常生活について伝える	7	
	1学期中間考査			
		Lesson 3 Your School Life 【Grammar】助動詞 【Activity】学校生活について説明する		
	6	Lesson 4 Media Literacy 【Grammar】形容詞の限定用法と叙述用法、分詞 【Activity】ソーシャルメディアとの付き合い方を考える	7	
		Lesson 5 Helping Others 【Grammar】名詞+形容詞句・前置詞句・分詞句・不定詞句 【Activity】ボランティア活動を紹介・説明する		
	パフォーマンス課題 1学期期末考査			
7	Lesson 6 Introducing Your Town 【Grammar】関係代名詞・関係副詞 【Activity】自分の住む町や地域を紹介する	7		

2 学 期	8	Lesson 7 Languages of the World	2
	9	【Grammar】 副詞 【Activity】 世界の言語について考える	8
		Lesson 8 Imagining the Future 【Grammar】 不定詞(副詞用法)・分詞 【Activity】 未来のことで想像した内容を伝える	
		2 学期中間考查	
	10	Lesson 9 Happiness and Stress 【Grammar】 副詞節 【Activity】 幸福とストレスの原因を考える	5
2 学 期	11	Lesson 10 Comparing Countries 【Grammar】 原級・比較級・最上級 【Activity】 各国のデータを比べる	8
		Lesson 11 Cultural Diversity 【Grammar】 仮定法 【Activity】 国際的な視野を持つ	
		パフォーマンス課題 2 学期期末考查	
	12	Lesson 12 Japanese Customs 【Grammar】 要求・必要を表す表現、認識の表現、時制の一致、話法 【Activity】 日本の文化について考える	4
3 学 期	1	Lesson 13 Population Issues 【Grammar】 「ある」「いる」の表現、「なる」「するようになる」の表現、「かかる」の表現 【Activity】 日本の人口問題について考える	7
	2	Lesson 14 Rights and Equality 【Grammar】 使役動詞、分詞を使う「させる・される」の表現、知覚動詞 【Activity】 権利と平等について考える	5
	3	Lesson 15 Think Globally, Act Locally 【Grammar】 日本語と違う表し方 【Activity】 世界の問題について考える	4
		パフォーマンス課題 学年末考查	

5 その他

- パフォーマンス課題の一部は ICT 機器を活用して行います。
- 表現活動の基礎を支える文法や語法の理解に努め、演習を繰り返す中で定着できるように励んでください。
- 論理・表現Ⅱの授業では、自分の意見を話したり、書いたりして相手に伝えたり、発表したりする表現活動を中心に行います。間違いを恐れずに、主体的に取り組んでください。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	英語コミュニケーションⅢ	単位数	4単位
		学年等	3年生普通

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>1. 積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとすることができる。</p> <p>2. 日常的な話題や社会的な話題について支援をほとんど活用しなくても、必要な情報を聞き取ったり読み取ったりして話の展開や意図を把握することができるようにする。</p> <p>3. 聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、論理的に詳しく伝えることができる。</p> <p>4. 言語や運用についての知識を身につけ、背景にある文化を理解することができる。</p>
使用教科書 副教材等	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書:「MY WAY English CommunicationⅢ」(三省堂) ・副教材:「MY WAY English CommunicationⅢ WORKBOOK STANDARD」(三省堂) ・「英単語ターゲット 1900」(旺文社) ・「Listening Training 10 min.大学入学共通テストリスニング分野別 10 min. 3rd Edition」(EMILE) ・「共通テストリスニング 実戦 30 min. 2026」(EMILE) ・「大学入学共通テストリーディング対策 READING HOPE 出題形式別 オリジナル問題集」ver.2 (美誠社) ・「2026 大学入学共通テスト 英語【リーディング】対策 Reach 40」(美誠社) ・「英語総合問題演習 WIDE ANGLE 5訂版 BOOK4」(美誠社) ・「入門英文問題精講 4訂版」(旺文社) (フロンティア用)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語の音声や語彙, 表現, 文法, 言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙, 表現, 文法, 言語の働きなどの知識を, 聞くこと, 読むこと, 話すこと, 書くことによる実際のコミュニケーションにおいて, 目的や場面, 状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。 	<p>コミュニケーションを行う目的や場面, 状況などに応じて, 日常的な話題や社会的な話題について, 外国語で情報や考えなどの概要や要点, 詳細, 話し手や書き手の意図などを的確に理解したり, これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め, 聞き手, 読み手, 話し手, 書き手に配慮しながら, 主体的, 自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p>
評価点	250点	250点	250点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	<p>Strategy for Listening & Reading1</p> <p>Strategy for Listening & Reading2</p> <p>Strategy for Listening & Reading3</p> <p>Strategy for Listening & Reading4</p> <p>Strategy for Listening & Reading5</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・課題テスト ・小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・パフォーマンステスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・パフォーマンステスト ・学習課題 ・授業観察

	Strategy for Listening & Reading6 Strategy for Listening & Reading7 Strategy for Listening & Reading8 Lesson1 “Priceless”Café,”Priceless”Community Lesson2 Nihonium- A New Element Born in Japan Lesson3 Tea in the Desert Climate Lesson4 The Benefits of Origami			
	評価点 300点	100点	100点	100点
2 学期	Lesson5 The Mysteries of English Spelling Lesson6 New Discovery in the Nasca Lines Lesson7 Today’s Trash is Tomorrow’s Treasure Lesson8 Nap Time at School	・定期考査 ・課題テスト ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンス テスト	・小テスト ・パフォーマンス テスト ・学習課題 ・授業観察
	評価点 300点	100点	100点	100点
3 学期	Lesson9 Dog Tax Lesson10 Space Development	・課題テスト ・小テスト	・大テスト ・パフォーマンス テスト	・小テスト ・パフォーマンス テスト ・授業観察
	評価点 150点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
----	---	----------	----

1 学 期	4	Strategy for Listening & Reading1 Strategy for Listening & Reading2 Strategy for Listening & Reading3 Strategy for Listening & Reading4 Strategy for Listening & Reading5 Strategy for Listening & Reading6	12
	5	Strategy for Listening & Reading7 Strategy for Listening & Reading8	12
		Lesson1 Library of the Future (内容)「値段のないカフェ」について新聞記事を読む。 (活動)値段が設定されていないものを買うことの利点・欠点を話し合う。	
	6	Lesson2 Nihonium-A New Element Born in Japan (内容)ニホニウムが発見された経緯を理解する。 (活動)試行錯誤を繰り返すことの利点を話し合う。	12
			1学期中間考査 1

	7	Lesson3 Tea in the Desert Climate (内容)中東やアフリカでお茶が多く読まれる理由を理解する。 (活動)お茶を飲むことの利点を話し合う。	13
		Lesson4 The Benefits of Origami (内容)折り紙の効果について理解する。 (活動)趣味がもたらす効果について話し合う。	13
			パフォーマンス課題1 2
			1学期期末考査 1

2 学 期	8	Lesson5 The Mysteries of English Spelling	13	
	9	(内容)英語のつづりの特徴について理解する。 (活動)英語のつづりや新しい表記について話し合う。		
	10	Lesson6 New Discovery in the Nasca Lines (内容)ナスカの地上絵研究とAIの活用について理解する。 (活動)日常生活でAIに期待することについて話し合う。	13	
			2学期中間考査	1
	11	Lesson7 Today's Trash is Tomorrow's Treasure (内容)アイサト・シーセイさんのアップサイクル活動について理解する。 (活動)どのようなアップサイクル製品に興味があるか話し合う。	13	
2 学 期	12	Lesson8 Nap Time at School (内容)学校に昼寝の時間を導入することの是非について理解する。 (活動)学校に関する話題について討論する。	13	
			パフォーマンス課題2	2
			2学期期末考査	1
3 学 期			冬課題考査	
	1	Lesson9 Dog Tax (内容)犬税を導入することの是非について理解する。 (活動)動物に関する話題について討論する。	8	
	2	Lesson10 Space Development (内容)宇宙開発に関する事実と意見を理解する。 (活動)宇宙に関する話題について討論する。	8	
			パフォーマンス課題3	2

5 その他

- 学期ごとにパフォーマンス課題を設定し、個人あるいはグループで課題に取り組んでもらいます。
- パフォーマンス課題の一部は ICT 機器を活用して行います。
- 英語コミュニケーションⅢの授業では、ペア学習やグループ学習を取り入れ、様々な意見や考えに触れながら、「聞く力」、「話す力」、「読む力」、「書く力」を育成します。日々の授業を大切に、積極的に取り組みましょう。
- 英語力を鍛えるには、毎日英語に触れることが大切です。授業外で予習や復習に取り組むなど、英語に毎日触れる機会を作りましょう！

科目名	英語コミュニケーションⅢ	単位数	4単位
		学年等	3年生体育

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>1. 積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとすることができる。</p> <p>2. 日常的な話題や社会的な話題について支援をほとんど活用しなくても、必要な情報を聞き取ったり読み取ったりして話の展開や意図を把握することができるようにする。</p> <p>3. 聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、論理的に詳しく伝えることができる。</p> <p>4. 言語や運用についての知識を身につけ、背景にある文化を理解することができる。</p>
使用教科書 副教材等	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書:「MY WAY English CommunicationⅢ」(三省堂) ・副教材:「MY WAY English CommunicationⅢ WORKBOOK STANDARD」(三省堂) ・「英単語ターゲット 1900」(旺文社) ・「Listening Training 10 min.大学入学共通テストリスニング分野別 10 min. 3rd Edition」(EMILE) ・「大学入学共通テストリーディング対策 READING HOPE 出題形式別 オリジナル問題集」ver.2 (美誠社) ・「英語総合問題演習 WIDE ANGLE 5訂版 BOOK4」(美誠社)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語の音声や語彙, 表現, 文法, 言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙, 表現, 文法, 言語の働きなどの知識を, 聞くこと, 読むこと, 話すこと, 書くことによる実際のコミュニケーションにおいて, 目的や場面, 状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。 	<p>コミュニケーションを行う目的や場面, 状況などに応じて, 日常的な話題や社会的な話題について, 外国語で情報や考えなどの概要や要点, 詳細, 話し手や書き手の意図などを的確に理解したり, これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め, 聞き手, 読み手, 話し手, 書き手に配慮しながら, 主体的, 自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p>
評価点	250点	250点	250点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	Strategy for Listening & Reading1 Strategy for Listening & Reading2 Strategy for Listening & Reading3 Strategy for Listening & Reading4 Strategy for Listening & Reading5 Strategy for Listening & Reading6 Strategy for Listening & Reading7 Strategy for Listening & Reading8 Lesson1 “Priceless”Café,”Priceless”Community	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・課題テスト ・小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・パフォーマンステスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・パフォーマンステスト ・学習課題 ・授業観察

	Lesson2 Nihonium- A New Element Born in Japan Lesson3 Tea in the Desert Climate Lesson4 The Benefits of Origami			
	評価点 300点	100点	100点	100点
2 学期	Lesson5 The Mysteries of English Spelling Lesson6 New Discovery in the Nasca Lines Lesson7 Today's Trash is Tomorrow's Treasure Lesson8 Nap Time at School	・定期考査 ・課題テスト ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンス テスト	・小テスト ・パフォーマンス テスト ・学習課題 ・授業観察
	評価点 300点	100点	100点	100点
3 学期	Lesson9 Dog Tax Lesson10 Space Development	・課題テスト ・小テスト	・大テスト ・パフォーマンス テスト	・小テスト ・パフォーマンス テスト ・授業観察
	評価点 150点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
----	---	----------	----

1 学 期	4	Strategy for Listening & Reading1 Strategy for Listening & Reading2 Strategy for Listening & Reading3 Strategy for Listening & Reading4 Strategy for Listening & Reading5 Strategy for Listening & Reading6	12
	5	Strategy for Listening & Reading7 Strategy for Listening & Reading8	12
		Lesson1 Library of the Future (内容)「値段のないカフェ」について新聞記事を読む。 (活動)値段が設定されていないものを買うことの利点・欠点を話し合う。	
	6	Lesson2 Nihonium-A New Element Born in Japan (内容)ニホニウムが発見された経緯を理解する。 (活動)試行錯誤を繰り返すことの利点を話し合う。	12
			1学期中間考査 1

	7	Lesson3 Tea in the Desert Climate (内容)中東やアフリカでお茶が多く読まれる理由を理解する。 (活動)お茶を飲むことの利点を話し合う。	13
		Lesson4 The Benefits of Origami (内容)折り紙の効果について理解する。 (活動)趣味がもたらす効果について話し合う。	13
			パフォーマンス課題1 2
			1学期期末考査 1

2 学 期	8	Lesson5 The Mysteries of English Spelling	13	
	9	(内容)英語のつづりの特徴について理解する。 (活動)英語のつづりや新しい表記について話し合う。		
	10	Lesson6 New Discovery in the Nasca Lines (内容)ナスカの地上絵研究とAIの活用について理解する。 (活動)日常生活でAIに期待することについて話し合う。	13	
			2学期中間考査	1
	11	Lesson7 Today's Trash is Tomorrow's Treasure (内容)アイサト・シーセイさんのアップサイクル活動について理解する。 (活動)どのようなアップサイクル製品に興味があるか話し合う。	13	
	12	Lesson8 Nap Time at School (内容)学校に昼寝の時間を導入することの是非について理解する。 (活動)学校に関する話題について討論する。	13	
		パフォーマンス課題2	2	
		2学期期末考査	1	
3 学 期			冬課題考査	
	1	Lesson9 Dog Tax (内容)犬税を導入することの是非について理解する。 (活動)動物に関する話題について討論する。	8	
	2	Lesson10 Space Development (内容)宇宙開発に関する事実と意見を理解する。 (活動)宇宙に関する話題について討論する。	8	
		パフォーマンス課題3	2	

5 その他

- 学期ごとにパフォーマンス課題を設定し、個人あるいはグループで課題に取り組んでもらいます。
- パフォーマンス課題の一部は ICT 機器を活用して行います。
- 英語コミュニケーションⅢの授業では、ペア学習やグループ学習を取り入れ、様々な意見や考えに触れながら、「聞く力」、「話す力」、「読む力」、「書く力」を育成します。日々の授業を大切に、積極的に取り組みましょう。
- 英語力を鍛えるには、毎日英語に触れることが大切です。授業外で予習や復習に取り組むなど、英語に毎日触れる機会を作りましょう！

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	論理・表現Ⅲ	単位数	2単位
		学年等	3年生全

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	<p>外国語による話すこと(やり取り・発表), 書くことの言語活動及びこれらをつなげた統合的な言語活動を通して, 情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次の通り育成することを目指す。</p> <p>(1)外国語の語彙, 表現, 文法, 言語の働きなどの理解を深めるとともに, これらの知識を, 話すこと, 書くことによる実際のコミュニケーションにおいて, 支援をほとんど活用しなくても, 目的や場面, 状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)コミュニケーションを行う目的や場面, 状況などに応じて, 日常的な話題や社会的な話題について複数の資料を活用しながら論理の構成や展開を工夫して適切に表現したり伝えあったりすることができる力を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書 : English Logic and Expression Ⅲ be Clear(いっずな書店)</p> <p>副教材 : be Clear English Logic and Expression II Essential Grammar Book(いっずな書店)</p> <p>総合英語 be 4th Edition(いっずな書店)</p> <p>Bright Stage 英文法・語法問題(桐原書店)</p> <p>総合英語 be English Grammar Workbook 46(いっずな書店)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	習得すべき文法や語法を知識として理解し, その知識を実際の活用場面で技能として使用している。	課題を解決したり, 自らの考えを伝えたりするために必要な知識及び技能を活用し, 思考力, 判断力, 表現力等を用いて適切なコミュニケーションをとっている。	知識及び技能を基に, 思考力, 判断力, 表現力等を用いてコミュニケーションをとるための粘り強い取組の中で, 自らの学習を調整しようとしている。
評価点	250点	250点	250点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	Lesson 1 A City Worth Visiting Lesson 2 Our Hometowns Lesson 3 What Makes a City Attractive? Lesson 4 How Do You Spend Your Time?	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・課題テスト ・パフォーマンステスト	・小テスト ・パフォーマンステスト ・学習課題 ・授業観察
	300点	100点	100点	100点
2 学 期	Lesson 5 Trying Something New Lesson 6 The Art of Translation Lesson 7 Combatting Climate Change Lesson 8 Future Energy Sources	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・課題テスト ・パフォーマンステスト	・小テスト ・パフォーマンステスト ・学習課題 ・授業観察

	Lesson 9 Discussing the Environment			
	300点	100点	100点	100点
3 学 期	Lesson 10 Globalization and Immigration Lesson 11 What is Fair Trade? Lesson 12 Helping to Fight Poverty	・小テスト	・課題テスト ・大テスト ・パフォーマンステスト	・小テスト ・パフォーマンステスト ・授業観察
	150点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
1 学 期	4	Lesson 1 A City Worth Visiting 【Grammar】受動態を適切に使う 【Activity】自分が住む場所について説明する	5	
	5	Lesson 2 Our Hometowns 【Grammar】動詞の形を意識する 【Activity】ある街のデータを分析し、数値の増減や変化を描写する	6	
	1学期中間考査			
	6	Lesson 3 What Makes a City Attractive? 【Grammar】話し手がどう思っているかを助動詞で表す 【Activity】自分の住む街の問題点を明らかにし、解決に向けての提案とその効果を書く	6	
	7	Lesson 4 How Do You Spend Your Time? 【Grammar】何と何を比べているのか意識する 【Activity】スポーツと音楽の利点を比較し、自分の意見を表現する	6	
	パフォーマンス課題1 1学期期末考査			
	2 学 期	8	Lesson 5 Trying Something New	5
9		【Grammar】比較級の前で差の程度を示す 【Activity】2つのものの共通点と相違点を整理し書く		
10		Lesson 6 The Art of Translation 【Grammar】副詞や形容詞で程度を表す 【Activity】好きな本や映画について発表する	5	
2学期中間考査				
11		Lesson 7 Combatting Climate Change 【Grammar】関係代名詞を使って名詞に説明を加える 【Activity】気候変動の原因と影響を書く	6	
		Lesson 8 Future Energy Source 【Grammar】分詞で名詞に説明を加える 【Activity】1つのエネルギー源についてその利点と欠点を考え、推進方法を説明する	6	
	12	Lesson 9 Discussing the Environment 【Grammar】不定詞で名詞に説明を加える 【Activity】環境問題解決のために自分にできることを表現する	6	
パフォーマンス課題2				

		2 学期期末考査	
3 学 期	1	Lesson 10 Globalization and Immigration 【Grammar】不定詞で「～すること」を表す 【Activity】移民の受け入れについて賛成・反対を論理的に表現できる	冬課題考査 6
	2	Lesson 11 What is Fair Trade? 【Grammar】動名詞で「～すること」を表す 【Activity】フェアトレード商品の購入について賛成・反対を論理的に表現できる	6
		Lesson 12 Helping to Fight Poverty 【Grammar】不定詞に副詞のはたらきをさせる 【Activity】ボランティア活動について考え、活動への志願書を書く <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">パフォーマンス課題 3</div>	7

5 その他

- 表現活動の基礎を支える文法や語法の理解に努め、演習を繰り返す中で定着できるように励んでください。
- 論理・表現Ⅲの授業では、自分の意見を話したり、書いたりして相手に伝えたり、発表したりする表現活動を中心に行います。間違いを恐れずに、主体的に取り組んでください。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	実践英語	単位数	2単位
		学年等	3年生文型・クリエイション

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>実際のコミュニケーションを行うにあたり必要な英語4技能(Listening, Reading, Writing, Speaking)の基礎・基本を確立させ、情報を整理しながら自らの考えを相手に論理的に適切な英語で伝えるために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、これらの知識を実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解し、適切に表現したりする力を養う。</p> <p>(3)異文化に対する理解を深め、コミュニケーションを行う相手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いて意思疎通を図ろうとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書:「Vivid English Communicaiton II」(第一学習社)</p> <p>副教材:SKYWARD LAND Course 最新入試英語長文20選(桐原書店)</p> <p>英単語ターゲット 1900(旺文社)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。 	<p>具体的な課題を設定し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、情報を整理しながら考えを形成し、これらを論理的に適切な英語で表現する力を身に付けている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p>
評価点	250点	250点	250点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1学期	SKYWARD Land Course Lesson1 SKYWARD Land Course Lesson2 Vivid II Lesson9 SKYWARD Land Course Lesson3 SKYWARD Land Course Lesson4 SKYWARD Land Course Lesson5 SKYWARD Land Course Lesson6 SKYWARD Land Course Lesson7 SKYWARD Land Course Lesson8 SKYWARD Land Course Lesson9	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・パフォーマンステスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・パフォーマンステスト ・学習課題

	SKYWARD Land Course Lesson10			
	300点	100点	100点	100点
2 学期	SKYWARD Land Course Lesson11 SKYWARD Land Course Lesson12 SKYWARD Land Course Lesson13 Vivid II Lesson10 SKYWARD Land Course Lesson14 SKYWARD Land Course Lesson15 SKYWARD Land Course Lesson16 SKYWARD Land Course Lesson17 SKYWARD Land Course Lesson18	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンス テスト	・小テスト ・パフォーマンス テスト ・学習課題
	300点	100点	100点	100点
3 学期	SKYWARD Land Course Lesson19 SKYWARD Land Course Lesson20 Vivid II Optional Lesson1	・課題テスト ・小テスト	・課題テスト ・パフォーマンス テスト	・小テスト ・パフォーマンス テスト
	150点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学期	4	SKYWARD Land Course Lesson1 文化と歴史 前置詞句の実用的な使い方を工夫する。	2
		SKYWARD Land Course Lesson2 エネルギー問題 〈名詞 + S + V〉の作り方を練習する。	2
		Vivid II Lesson9 Invigorating Our Local Community (文法)・省略・完了不定詞・All you have to do is (to) ~・仮定法	6
	5	(活動)自分の住む地域社会のよい点や悪い点をまとめる。	1
		学期中間考査	1
		SKYWARD Land Course Lesson3 食文化 〈It is + 過去分詞 + that ~〉の形で使う動詞を確認する。	2
	6	SKYWARD Land Course Lesson4 ビジネス 同格関係を表す4つの関係と意味を確認する。	2
		SKYWARD Land Course Lesson5 英語学習 〈動詞 + A + as + B〉の形で使う表現を確認する。	2
		SKYWARD Land Course Lesson6 ジェンダー論 補足説明を加える関係詞の使い方を確認する。	2
		SKYWARD Land Course Lesson7 環境 〈名詞 + 現在分詞で始まる句〉の使い方を確認する。	2
	7	SKYWARD Land Course Lesson8 言語 引用符の使い方を理解する。	2
		SKYWARD Land Course Lesson9 人体・医学 関係代名詞 what と疑問詞 what の区別を考える。	2
			パフォーマンス課題1
		1学期期末考査	1

2 学 期	8	SKYWARD Land Course Lesson10 都市問題 後ろに〈O + to do〉の形を置く動詞を覚える。	2	
	9	SKYWARD Land Course Lesson11 地球の資源 〈A as well as B〉が表す意味について確認する。	2	
		SKYWARD Land Course Lesson12 教育 It で始まる慣用的な構文を確認する。	2	
		SKYWARD Land Course Lesson13 科学技術と社会 if「～かどうか」・部分否定について確認する。	2	
	10	Vivid II Lesson10 The underside of Wildlife Tourism (文法)・倒置・分詞構文(完了形)・as if + 仮定法・複合関係詞 (活動)SNS の活用方法についてまとめ発表する。	6	
		学期中間考査	2	
		SKYWARD Land Course Lesson14 発明 過去完了形の使い方を確認する。	1	
		SKYWARD Land Course Lesson14 発明 過去完了形の使い方を確認する。	2	
	11	SKYWARD Land Course Lesson15 労働 後置修飾のパターンを確認する。	2	
		SKYWARD Land Course Lesson16 会話 強調構文のバリエーションを確認する。	2	
	12	SKYWARD Land Course Lesson17 統計 hardly「ほとんど～ない」・not A but B の使い方を理解する。	2	
		SKYWARD Land Course Lesson18 エッセイ 〈have + O + 動詞の原形〉の意味を確認する。	2	
		パフォーマンス課題2	2	
		2学期期末考査	1	
3 学 期	1		課題テスト	1
		SKYWARD Land Course Lesson19 労働問題 〈not + 不定詞／分詞／動名詞〉のパターンを確認する。	3	
		SKYWARD Land Course Lesson20 産業 補足説明を加える過去分詞句・not only A but also B の使い方を理解する。	3	
		Vivid II Optional Lesson1	5	
	2	The Joker	パフォーマンス課題3	2

5 その他

- 実践英語の授業では、英文を通じて知見を広げ、それらを正しく発信する力を養っていきます。授業に積極的に参加し、課題やテストにもしっかりと取り組みましょう。また、英語を使う場面では、間違いを恐れずに、積極的に言語活動に参加してください。受験生としての自覚ある取り組みを期待しています。
- ペア学習やグループ学習を取り入れ、「聞くこと」、「話すこと」、「読むこと」、「書くこと」を総合的に育成していきます。様々な意見や考えに触れながら協同的に学習を進めていきます。
- 学期ごとに教材の内容と関連させたパフォーマンス課題を設定し、個人あるいはグループで課題に取り組んでもらいます。学習した内容がベースとなるので、日々の授業を大切に、積極的に取り組みましょう。
- 授業中や学習課題の提出、あるいはパフォーマンステストにおいて、ICT 機器を活用していきます。

科目名	家庭基礎	単位数	2単位
		学年等	1年生普通

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成する。
使用教科書 副教材等	教科書：家庭基礎 自立・共生・創造（東京書籍株式会社） 副教材：最新生活ハンドブック 資料&成分表&ICT（株式会社第一学習社）

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生涯を見通して家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて課題の解決に主体的に取り組んだり振り返って改善したりして、自分や家庭、地域の生活を創造し実践しようとしている。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	第1章 生涯を見通す 第2章 人生をつくる 第3章 子どもと共に育つ 第4章 超高齢社会を共に生きる 第5章 共に生き、共に支える	・定期考査 ・実技試験	・定期考査 ・パフォーマンス課題	・ポートフォリオ ・ワークシート
		100点	100点	100点
2 学期	第7章 衣生活をつくる 第6章 食生活をつくる 第8章 住生活をつくる	・定期考査 ・実技試験	・定期考査 ・パフォーマンス課題	・ポートフォリオ ・ワークシート
		100点	100点	100点
3 学期	第9章 経済生活を営む 第10章 持続可能な生活を営む 第11章 これからの生活を創造する	・定期考査 ・学習課題	・定期考査 ・パフォーマンス課題	・ポートフォリオ ・ワークシート
		100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
----	---	----------	----

1 学 期	4	○第1章 生涯を見通す ○第2章 人生をつくる □人生設計 …ポートフォリオ(主)	4
	5	○第3章 子どもと共に育つ ■おもちゃ製作 …パフォーマンス課題(思)	8
	6	○第4章 超高齢社会を共に生きる ○第5章 共に生き、共に支える ●ハザードマップ製作 …実技試験(知)	8
	7	----- 1学期期末考査 ----- □ホームプロジェクト活動 …ポートフォリオ(主)	2
2 学 期	8	↓	2
	9	○第7章 衣生活をつくる ●ブックカバー製作 …実技試験(知)	8
	10	○第6章 食生活をつくる	8
	11	■献立作成 …パフォーマンス課題(思)	8
	12	----- 2学期期末考査 ----- ○第8章 住生活をつくる ■住居平面図製作 …パフォーマンス課題(思)	4
3 学 期	1	○第9章 経済生活を営む ●家計管理 …学習課題(知)	8
	2	○第10章 持続可能な生活を営む ○第11章 これからの生活を創造する □人生設計 …ポートフォリオ(主)	8
	3	----- 3学期期末考査 ----- ↓	2

5 その他

- 2時間連続授業で基本的には教室で授業を行います。家庭科の特別教室(被服室・調理室)に移動することもあります。
- 教科書・副教材の他、調理実習時にはエプロン・三角巾・マスク・手拭きタオル、被服実習時には裁縫道具が必要となります。その他の実習時に必要なものは別途指示をします。
- 実習ではペア学習やグループ学習を行います。相手を尊重し、協力し、思いやりをもって授業に参加しましょう。
- 定期考査は1学期期末考査、2学期期末考査、学年末考査の計3回です。
- 被服室は、原則飲食禁止です。
- 特別教室にある物品や備品は、教室外に持ち出して使用してはいけません。
- 感染症等の影響により、実習内容に変更が生じる場合があります。
- 授業連絡は Google Classroom を通じて行うこともありますので、確認をしてください。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	家庭基礎	単位数	2単位
		学年等	2年生体育

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成する。
使用教科書 副教材等	教科書：家庭基礎 自立・共生・創造（東京書籍株式会社） 副教材：最新生活ハンドブック 資料&成分表&ICT（株式会社第一学習社）

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生涯を見通して家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて課題の解決に主体的に取り組んだり振り返って改善したりして、自分や家庭、地域の生活を創造し実践しようとしている。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	第1章 生涯を見通す 第2章 人生をつくる 第3章 子どもと共に育つ 第4章 超高齢社会を共に生きる 第5章 共に生き、共に支える	・定期考査 ・実技試験	・定期考査 ・パフォーマンス課題	・ポートフォリオ ・ワークシート
		100点	100点	100点
2 学期	第7章 衣生活をつくる 第6章 食生活をつくる 第8章 住生活をつくる	・定期考査 ・実技試験	・定期考査 ・パフォーマンス課題	・ポートフォリオ ・ワークシート
		100点	100点	100点
3 学期	第9章 経済生活を営む 第10章 持続可能な生活を営む 第11章 これからの生活を創造する	・定期考査 ・学習課題	・定期考査 ・パフォーマンス課題	・ポートフォリオ ・ワークシート
		100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
----	---	----------	----

1 学 期	4	○第1章 生涯を見通す ○第2章 人生をつくる □人生設計 …ポートフォリオ(主)	4
	5	○第3章 子どもと共に育つ ■おもちゃ製作 …パフォーマンス課題(思)	8
	6	○第4章 超高齢社会を共に生きる ○第5章 共に生き、共に支える ●ハザードマップ製作 …実技試験(知)	8
	7	□ホームプロジェクト活動 …ポートフォリオ(主)	2
2 学 期	8		2
	9	○第7章 衣生活をつくる ●ブックカバー製作 …実技試験(知)	8
	10	○第6章 食生活をつくる	8
	11	■献立作成 …パフォーマンス課題(思)	8
	12	○第8章 住生活をつくる ■住居平面図製作 …パフォーマンス課題(思)	4
3 学 期	1	○第9章 経済生活を営む ●家計管理 …学習課題(知)	8
	2	○第10章 持続可能な生活を営む ○第11章 これからの生活を創造する □人生設計 …ポートフォリオ(主)	8
	3		2

- 2時間連続の授業で基本的には教室で授業を行います。家庭科の特別教室(被服室・調理室)に移動することもあります。
- 教科書・副教材の他、調理実習時にはエプロン・三角巾・マスク・手拭きタオル、被服実習時には裁縫道具が必要となります。その他の実習時に必要なものは別途指示をします。
- 実習ではペア学習やグループ学習を行います。相手を尊重し、協力し、思いやりをもって授業に参加しましょう。
- 定期考査は1学期期末考査、2学期期末考査、学年末考査の計3回です。
- 被服室は原則飲食禁止です。
- 特別教室にある物品や備品は、教室外に持ち出して使用してはいけません。
- 感染症等の影響により、実習内容に変更が生じる場合があります。
- 授業連絡は Google Classroom を通じて行うこともありますので、確認をしてください。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	家庭演習	単位数	2単位
		学年等	3年生文型・クリエイション

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を高める。
使用教科書 副教材等	教科書：家庭基礎 自立・共生・創造（東京書籍株式会社） 副教材：最新生活ハンドブック 資料&成分表&ICT（株式会社第一学習社） 副教材：家庭基礎 学習ノート（東京書籍株式会社）

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生涯を見通して家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて課題の解決に主体的に取り組んだり振り返って改善したりして、自分や家庭、地域の生活を創造し実践しようとしている。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	第1章 生涯を見通す 第6章 食生活をつくる 第2章 人生をつくる 第3章 子どもと共に育つ	・定期考査 ・実技試験	・定期考査 ・パフォーマンス課題	・ワークシート ・実習レポート
		100点	100点	100点
2 学期	第7章 衣生活をつくる 第4章 超高齢社会を共に生きる 第5章 共に生き、共に支える 第11章 これからの生活を創造する	・定期考査 ・実技試験	・定期考査 ・パフォーマンス課題	・ワークシート ・実習レポート
		100点	100点	100点
3 学期	第8章 住生活をつくる 第9章 経済生活を営む 第10章 持続可能な生活を営む	・実技試験	・パフォーマンス課題	・実習レポート
		100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学期	4	○第1章 生涯を見通す ○第6章 食生活をつくる □食事計画 …パフォーマンス課題(思) ●食分野実習1 日本料理・日常食 …実習レポート(主) ●衣分野実習1 和裁 …実技試験(知)	6
	5	●食分野実習2 西洋料理・日常食 …実習レポート(主)	6
	6	○第2章 人生をつくる ○第3章 子どもと共に育つ ●食分野実習3 中国料理・日常食 …実習レポート(主)	8
	7	----- □子どもとの触れ合い体験 …パフォーマンス課題(思)	5
2 学期	8	○第7章 衣生活をつくる ●衣分野実習2 洋裁 …実技試験(知)	5
	9	●食分野実習4 日本料理・供応食1 …実習レポート(主)	6
	10	○第4章 超高齢社会を共に生きる ○第5章 共に生き、共に支える ●食分野実習5 西洋料理・供応食1 …実習レポート(主)	8
	11	□高齢者との触れ合い体験 …パフォーマンス課題(思) ----- 2学期期末考査	8
3 学期	1	○第8章 住生活をつくる ○第9章 経済生活を営む ●食分野実習7 日本料理・供応食2 …実習レポート(主) ●衣分野実習3 小物 …実技試験(知)	8
	2	○第10章 持続可能な生活を営む	4
	3		

5 その他

- 2時間連続授業で、家庭科の特別教室(被服室・調理室)で授業を行います。
- 教科書・資料集は、1年次の家庭基礎でを使用したものを継続使用します。
- 教科書・副教材の他、調理実習時にはエプロン・三角巾・マスク・手拭きタオル、被服実習時には裁縫道具が必要となります。その他の実習時に必要なものは別途指示をします。
- 実習ではペア学習やグループ学習、また、地域の人との交流を行うこともあります。相手を尊重し、協力し、思いやりをもって授業に参加しましょう。
- 年度当初に実習費を徴収します。
- 外部講師による授業や、地域の施設で授業を行うこともあります。
- 定期考査は1学期期末考査、2学期期末考査の年2回です。
- 被服室は、原則飲食禁止です。
- 特別教室にある物品や備品は、教室外に持ち出して使用してはいけません。
- 感染症等の影響により、実習内容に変更が生じる場合があります。
- 授業連絡は Google Classroom を通じて行うこともありますので、確認をしてください。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	情報 I	単位数	2単位
		学年等	1年生全

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を育成する。
使用教科書副教材等	<ul style="list-style-type: none"> ・高等学校 情報 I (第一学習社) ・情報 I 学習ノート(第一学習社) ・ポイントでマスター 基礎からはじめる 情報リテラシーOffice2019 対応 ・ケーススタディ 情報モラル Advance ・30 時間でマスター ホームページビルダーVer.11/12/13 ・Excel でまなぶプログラミング

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。	様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。	情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。
評価点	300 点	300 点	300 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	第 1 章 情報社会の問題解決 Word を用いた実習 Excel を用いた実習	定期考査	課題 実技テスト	ノート 課題プリント タイピング練習 行動観察
	評価点	100 点	100 点	100 点
2 学期	第 2 章 コミュニケーションと情報デザイン PowerPoint を用いた実習 第 3 章 コンピュータとプログラミング プログラミングを用いた実習	定期考査	課題 実技テスト	ノート 課題プリント タイピング練習 行動観察
	評価点	100 点	100 点	100 点
3 学期	第 4 章 情報通信ネットワークとデータの活用 ホームページビルダーを用いた実習	定期考査	課題 実技テスト	ノート 課題プリント タイピング練習 行動観察
	評価点	100 点	100 点	100 点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学期	4	第1章 情報社会の問題解決 パフォーマンス課題 Word を用いた実習	12
	5	第1節 情報の活用	
	6	第2節 個人の責任と情報モラル パフォーマンス課題 PowerPoint を用いた実習	12
	7	第3節 情報技術の役割と影響	
1学期期末考査			
2 学期	8	第2章 コミュニケーションと情報デザイン パフォーマンス課題 Excel を用いた実習	13
	9	第1節 コミュニケーション手段の特徴	
	10	第2節 情報デザイン	
	11	第3節 コミュニケーションと効果的なデザイン	15
	11	第3章 コンピュータとプログラミング パフォーマンス課題 プログラミングを用いた実習	
12	第1節 コンピュータのしくみと動き		
12	第2節 モデル化とシミュレーション		
12	第3節 プログラムと問題解決		
2学期期末考査			
3 学期	1	第4章 情報通信ネットワークとデータの活用	18
	2	第1節 情報通信ネットワークのしくみ パフォーマンス課題 ホーム°-ジビルダ°-を用いた実習	
	3	第2節 情報システムとデータ管理	
3	第3節 データの分析と活用		
学年末考査			

5 その他

--	--